

千歳市の環境に関する アンケート調査結果報告書

令和6年9月

千 歳 市

目 次

I 調査の概要	1
II 調査結果の概要	4
1 基本項目	4
2 公害関係の設問	7
3 自然環境の設問	15
4 地球環境の設問	21
5 廃棄物の設問	26
6 環境保全活動などの設問	29
7 総評	33
(資料編)アンケート調査票	34

I 調査の概要

1 調査目的

千歳市における環境や公害問題について、市民動向や環境配慮への取り組み状況を把握するため実施しました。この調査結果は、第3次千歳市環境基本計画に係る進行管理及び令和7年度に実施する同計画の改訂（中間見直し）資料とします。

2 調査対象者

20歳以上の市民

3 実施時期

令和6年6月末～令和6年7月 ※アンケート調査票6月末発送～7月19日回答期限

4 調査方法

「表-1 地域区分表」及び「図-1 アンケート調査地域区分概要図」に示す15地域に区分した上で、各地域の人口比に応じて合計1,200人を無作為に抽出し、郵送による発送及びWEB回答により実施しました。

5 回収状況

(1) 令和6年度実施調査

配布数	1,200件
調査票回収数	505件（回収率42.1%）
うち有効回答数	505件（有効回答率42.1%）

※1 基本項目のうち、性別・年齢・居住地域について回答しているものを有効回答としています。

※2 有効回答数及び有効回答率については、表-1を参照してください。

(2) 前回のアンケート回収状況について

(参考)平成30年度実施調査

配布数	1,200件
調査票回収数	505件（回収率42.1%）
うち有効回答数	497件（有効回答率41.4%）

平成27年度実施調査

配布数	1,200件
調査票回収数	528件（回収率44.0%）
うち有効回答数	527件（有効回答率43.9%）

6 調査項目

- (1) 基本項目
- (2) 公害関係項目
- (3) 自然環境項目
- (4) 地球環境保全項目
- (5) 環境保全活動など

7 特記事項

- (1) この報告書において、「前回調査」とは平成 30 年度に実施した「千歳市の環境に関するアンケート調査」のことを示しています。また、() で前回調査の数値を標記し比較しています。
- (2) 割合 (%) は、小数点第 2 位を四捨五入していますが、全体で 100%になるよう端数処理したものがああります。
- (3) アンケート設問及び回答区分は、市民意識を詳細に把握するため前回調査から追加や整理を行っています。

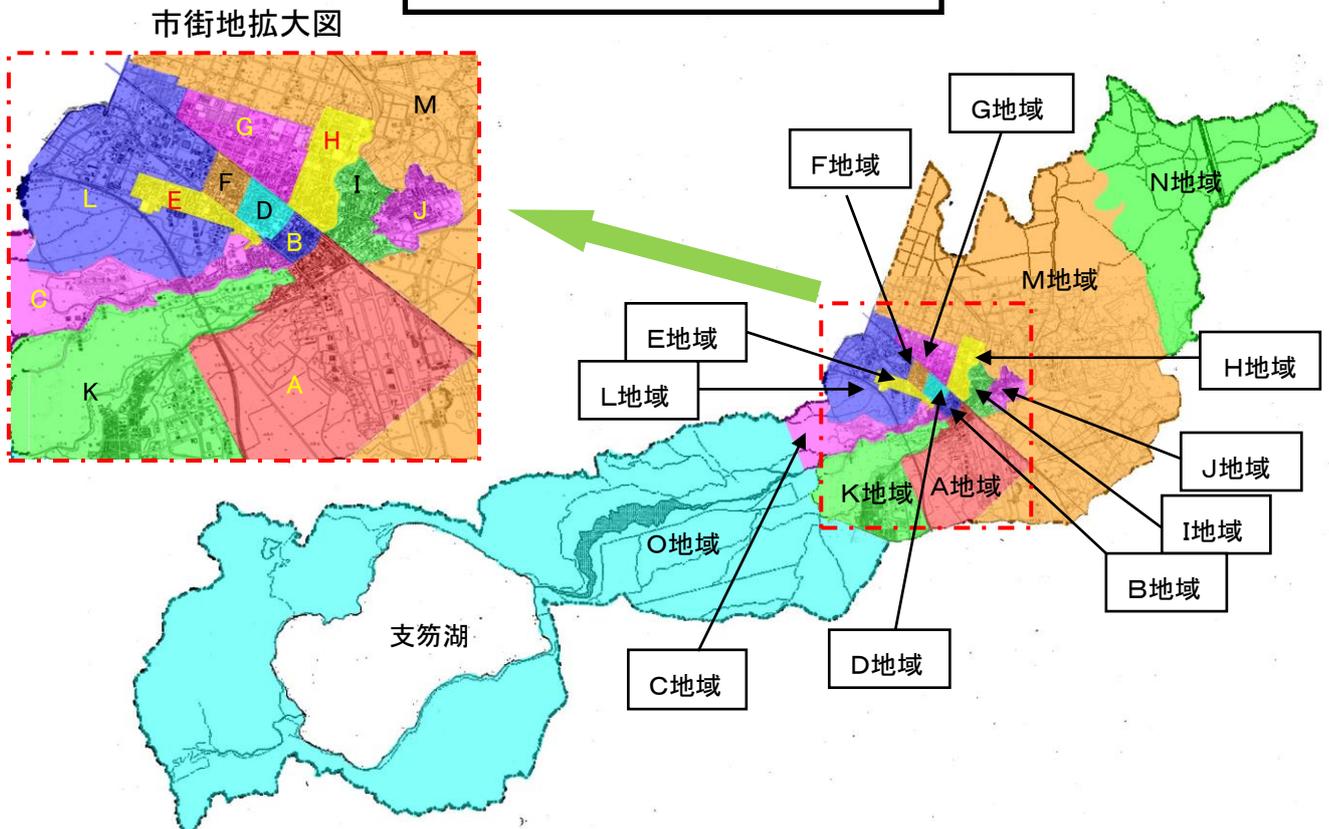
表-1 地域区分表

(単位：人、%)

地域	地域範囲	配票数	男		女		有効回答数	有効回答率	
			男	女	男	女			
A	本町、東雲町、朝日町、真々地、平和	62	37	25	24	11	13	38.7	
B	清水町、幸町、千代田町、栄町、錦町	44	26	18	19	11	8	43.2	
C	春日町、緑町、大和、桂木、新星、蘭越	85	37	48	36	8	28	42.4	
D	北栄、新富	64	30	34	24	11	13	37.5	
E	北斗、自由ヶ丘、桜木	92	42	50	42	21	21	45.7	
F	信濃、富士	69	31	38	26	9	17	37.7	
G	富丘、北光、北陽、長都駅前、あずさ	200	90	110	89	42	47	44.5	
H	末広、花園、稲穂、高台、清流、幸福	171	88	83	63	28	35	36.8	
I	青葉、豊里、住吉、東郊、青葉丘	104	56	48	48	27	21	46.2	
J	日の出、梅ヶ丘、弥生、寿、旭ヶ丘、日の出丘、流通	95	44	51	47	22	25	49.5	
K	若草、白樺、里美、柏陽、福住、文京、泉沢、真町	118	63	55	56	26	30	47.5	
L	北信濃、勇舞、上長都、みどり台北、みどり台南	55	27	28	20	6	14	36.4	
M	都、長都、釜加、根志越、祝梅、中央、駒里、泉郷、美々	34	24	10	9	6	3	26.5	
N	幌加、協和、新川、東丘	4	1	3	1	0	1	25.0	
O	支笏湖温泉、幌美内、モラップ	3	1	2	1	1	0	33.3	
計		1,200	597	603	505	229	276	42.1	

※ 人口は令和6年6月20日現在

図-1 アンケート調査地域区分概要図

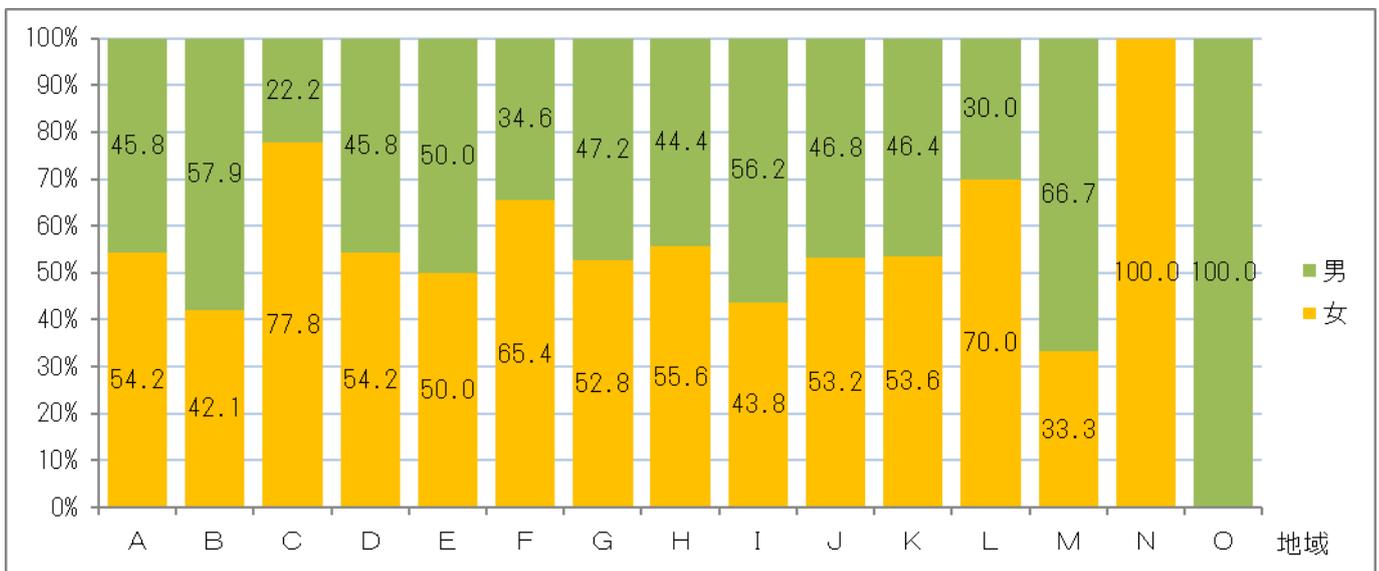


II 調査結果の概要

1 基本項目（回答者特性）

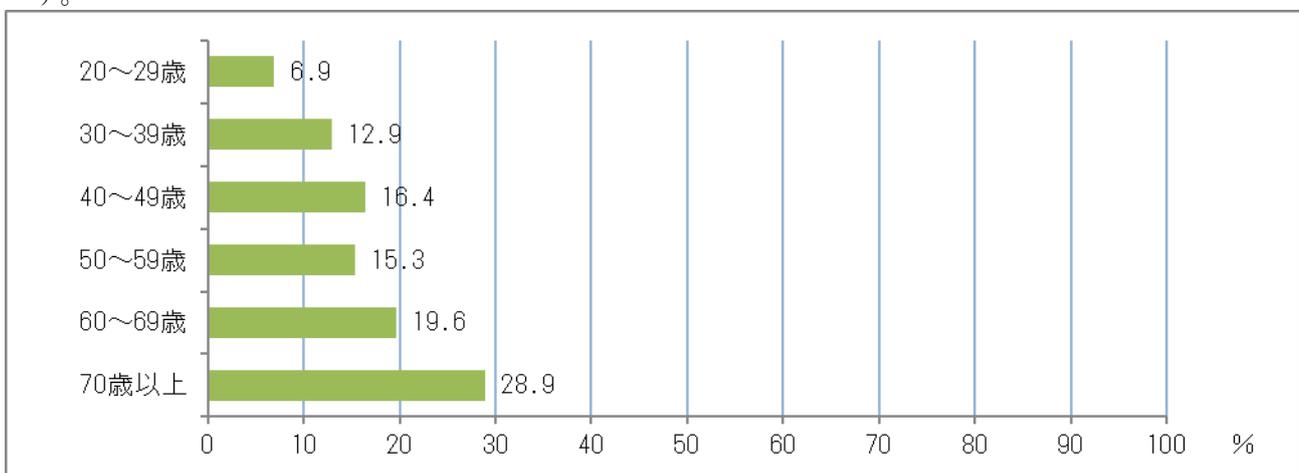
(1) 性別

男性 45.3% (43.1%)、女性 54.7% (56.9%) で、女性の割合が高くなっています。



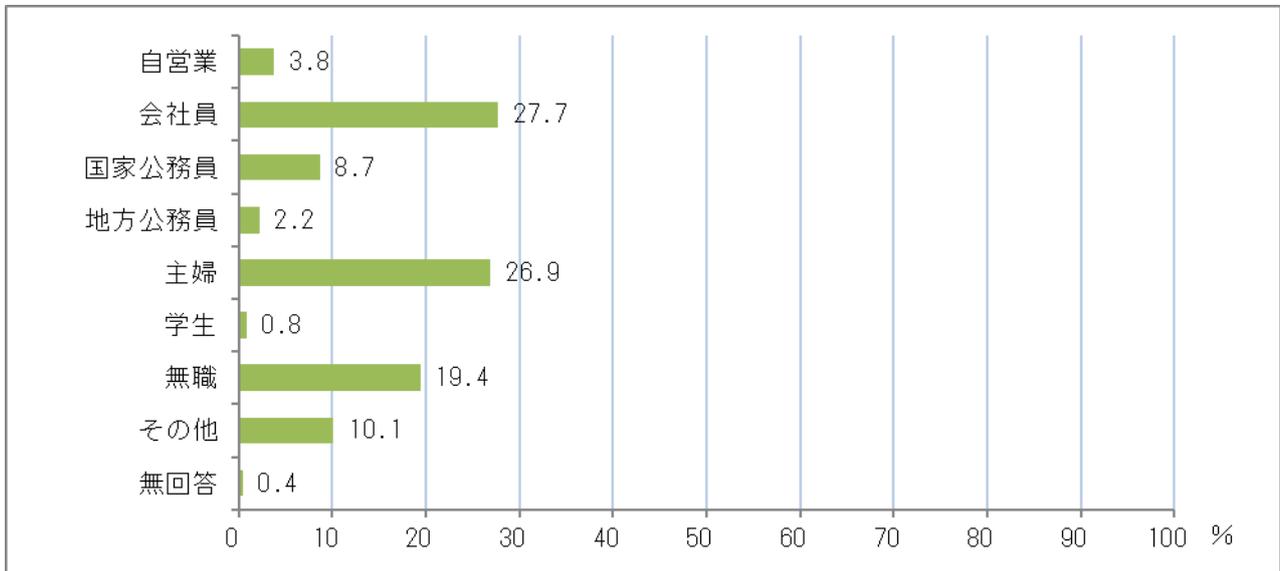
(2) 年齢別

年齢別の回答割合は、20歳代 6.9% (6.8%)、30歳代 12.9% (13.9%)、40歳代 16.4% (17.3%)、50歳代 15.3% (16.7%)、60歳代 19.6%、70歳代以上 28.9% (60歳代以上 45.3%) となっています。前年調査と比較すると、30歳代から50歳代までの割合は減少していますが、60歳以上の割合は増加しています。



(3) 職業別

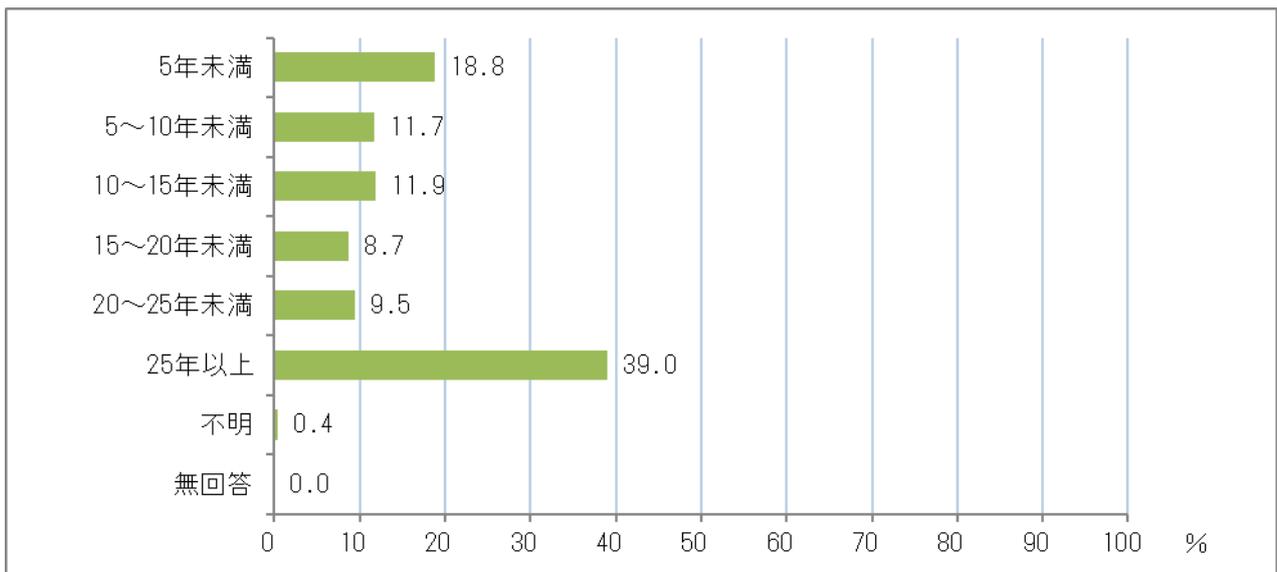
職業別で回答割合の高い順に、会社員 27.7% (34.6%)、主婦 26.9% (26.4%)、無職 19.4% (19.1%)、国家公務員 8.7% (7.1%)、自営業 3.8% (5.2%)、地方公務員 2.2% (2.6%)、学生 0.8% (1.2%)、その他 10.1% (2.8%)、無回答 0.4% (1.0%) となっています。前回調査と比較すると国家公務員、主婦、無職、その他の割合が増加し、自営業、会社員、地方公務員、学生の割合が減少しています。



(4) 居住年数

居住年数では、5年未満 18.8% (21.9%)、5～10年未満 11.7% (13.3%)、10～15年未満 11.9% (13.7%)、15～20年未満 8.7% (6.2%)、20～25年未満 9.5% (10.9%)、25年以上 39.0% (33.8%)、不明 0.4% (0.0%) となっています。

また、居住年数別にみると、5年未満と25年以上の回答割合が高くなっていますが、前回調査と比較すると増減はわずかです。

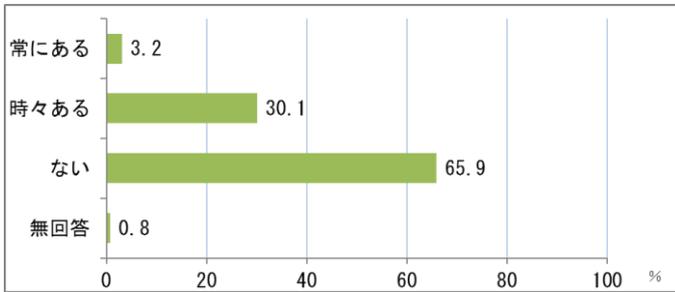


地域	地域・回答者特性
A	古くから形成された市街地で、空港周辺の地域です。年齢別では30歳代の回答が約3割となっています。職業別では会社員と国家公務員が多く、居住年数は5年未満、10年未満が約5割となっています。
B	市中心部にあつて、商店街と栄町などの住宅地を主とする地域です。年齢別では30歳代と50歳代の回答がそれぞれ約4割となっています。職業別では会社員が約4割、居住年数は5年未満が約4割となっています。
C	中心街に近接した新旧の住宅地で構成する地域です。年齢別では50歳代、60歳代、70歳以上の回答の合計が6割となっています。職業別では会社員が2割、主婦が3割、居住年数は25年以上が約3割となっています。
D	中心街に近接した住宅地域です。年齢別では60歳以上の回答が約4割となっています。職業別では会社員が2割、主婦が3割、居住年数は25年以上が約2割となっています。
E	国道36号の西側の郊外に位置する騒音対策の移転先にもなった住宅地域です。年齢別では70歳以上の回答が約4割となっています。職業別では会社員が約3割、居住年数は25年以上が約6割となっています。
F	西側は工業団地と接しており、中央大通（道道早来千歳線）が地域の中央を通過している住宅地域です。年齢別では60歳以上の回答が約6割となっています。職業別では主婦が約3割、居住年数は25年以上が約4割となっています。
G	市営住宅が多くを占める住宅地と、北陽・あずさなどの住宅地から構成する地域です。年代別では70歳以上の回答が約3割となっています。職業別では会社員が約3割、居住年数は25年以上が約3割となっています。
H	中心街に比較的近い市営住宅やアパートなどの多い住宅地と、清流・幸福の比較的新しい住宅地から構成する地域です。年齢別では各年代の回答が均等です。職業別では会社員が約4割、居住年数は25年以上が約3割となっています。
I	住宅地と中小規模の事業所やスーパーなどが点在し、主に自衛隊機の飛行経路となっている地域です。年齢別では70歳以上の回答が約3割となっています。職業別では会社員が約4割、居住年数は25年以上が約5割となっています。
J	住宅地と中小規模の事業所やスーパーなどが点在し、主に民間航空機の飛行経路となっている地域です。年齢別では70歳以上の回答が約4割となっています。職業別では会社員が約4割、居住年数は25年以上が約6割となっています。
K	市街地から独立して、臨空工業団地とともに造成された住宅地を中心とした地域です。年齢別では60歳以上の回答が6割を超えています。職業別では会社員が約3割、居住年数は25年以上が5割となっています。
L	工業団地と農業地域から構成されていましたが、みどり台地区などの新しい住宅地が開発された地域です。年齢別では30歳以上・40歳以上の回答が約7割となっています。職業別では会社員が約3割、主婦が約3割、居住年数は10年未満が約6割となっています。
M	一部工業地域を含む農業を中心とした地域です。年齢別では30歳以上が約3割、60歳以上の回答が約3割となっています。職業別では国家公務員の回答が約4割となっています。居住年数は5年以下が3割となっています。
N	市内東部の農業地域です。回答者は50歳代のと主婦の1人であり、居住年数は15～20年未満となっています。
O	支笏湖及び千歳川に臨む自然に恵まれた地域です。回答者は60歳代の無職の1人であり、居住年数は10年～15年未満となっています。

2 公害関係項目

問1 あなたのまわりで大気汚染（空気の汚れ）がありますか。

大気汚染について、「常にある」と「時々ある」を合わせた回答は 33.3% (41.2%) となり、前回調査結果と比較して、空気の汚れを感じている人は減少しています。

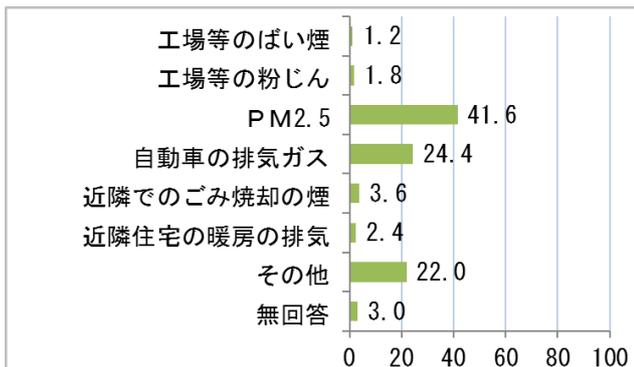


区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
常にある	16	3.2	2.6
時々ある	152	30.1	38.6
ない	334	65.9	58.0
無回答	3	0.8	0.8
計	505	100.0	100.0

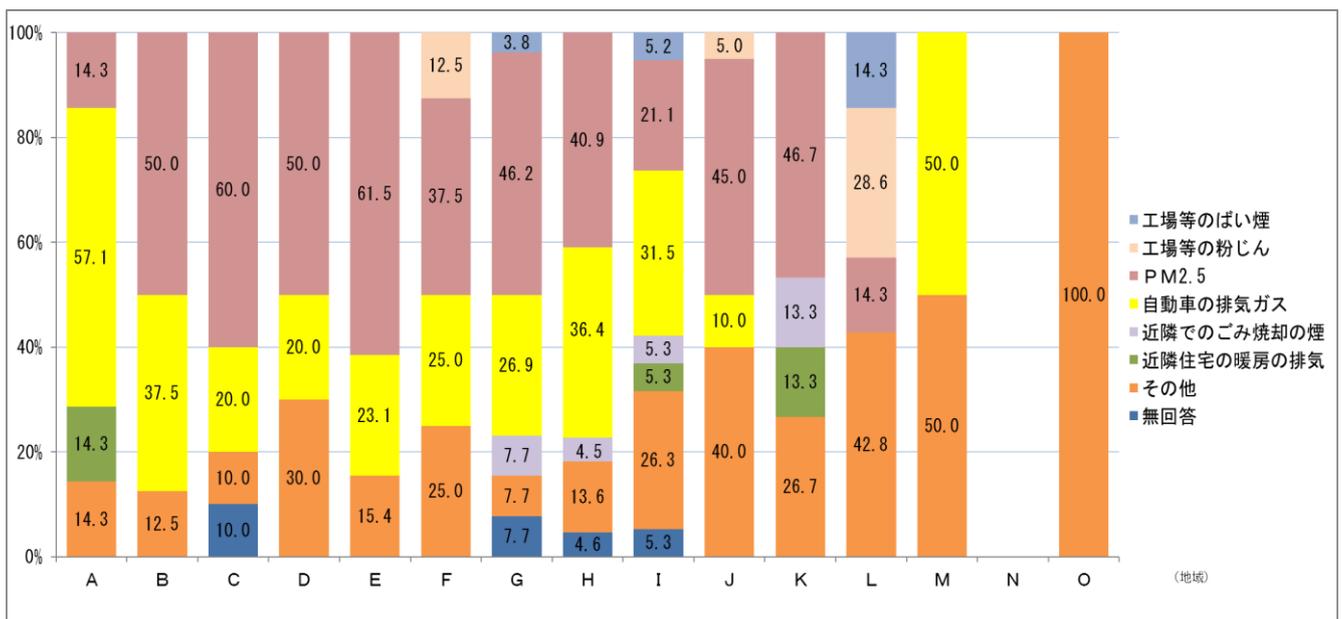
問1-1 前の設問で『常にある』、『時々ある』とお答えの方にお尋ねします。その原因となるものはなんですか。次の中から1つだけ選んでください。

大気汚染が「ある」との原因は、「PM2.5」41.6% (63.4) が最も高くなっています。

また、A、B、H、I 地域では「自動車の排気ガス」の割合が高くなっています。「その他」の回答として、堆肥等と黄砂の割合が高くなっています。

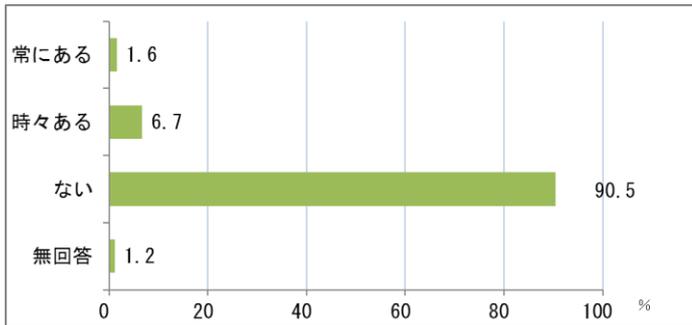


区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
工場等のばい煙	2	1.2	0.5
工場等の粉じん	3	1.8	0.0
PM2.5	70	41.6	63.4
自動車の排気ガス	41	24.4	13.2
近隣でのごみ焼却の煙	6	3.6	1.0
近隣住宅の暖房の排気	4	2.4	2.9
その他	37	22.0	11.2
無回答	5	3.0	7.8
計	168	100.0	100.0



問2 あなたのまわりで水質汚濁（河川などの汚れ）がありますか。

水質汚濁について、「常にある」と「時々ある」を合わせた回答は 8.3%（6.8%）となり、前回調査結果と比較して若干増加しました。



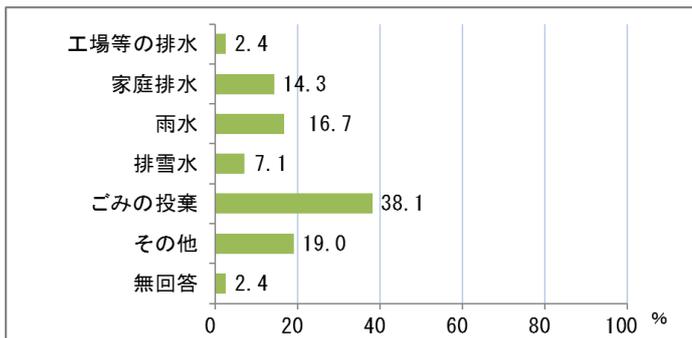
区分	回答数	割合 (%)		
		今回調査	前回調査	前々回
常にある	8	1.6	0.8	0.6
時々ある	34	6.7	6.0	6.3
ない	457	90.5	92.0	93.1
無回答	6	1.2	1.2	0.0
計	505	100.0	100.0	100.0

問2-1 前の設問で『常にある』、『時々ある』とお答えの方にお尋ねします。その原因となるものはなんですか。次の中から1つだけ選んでください。

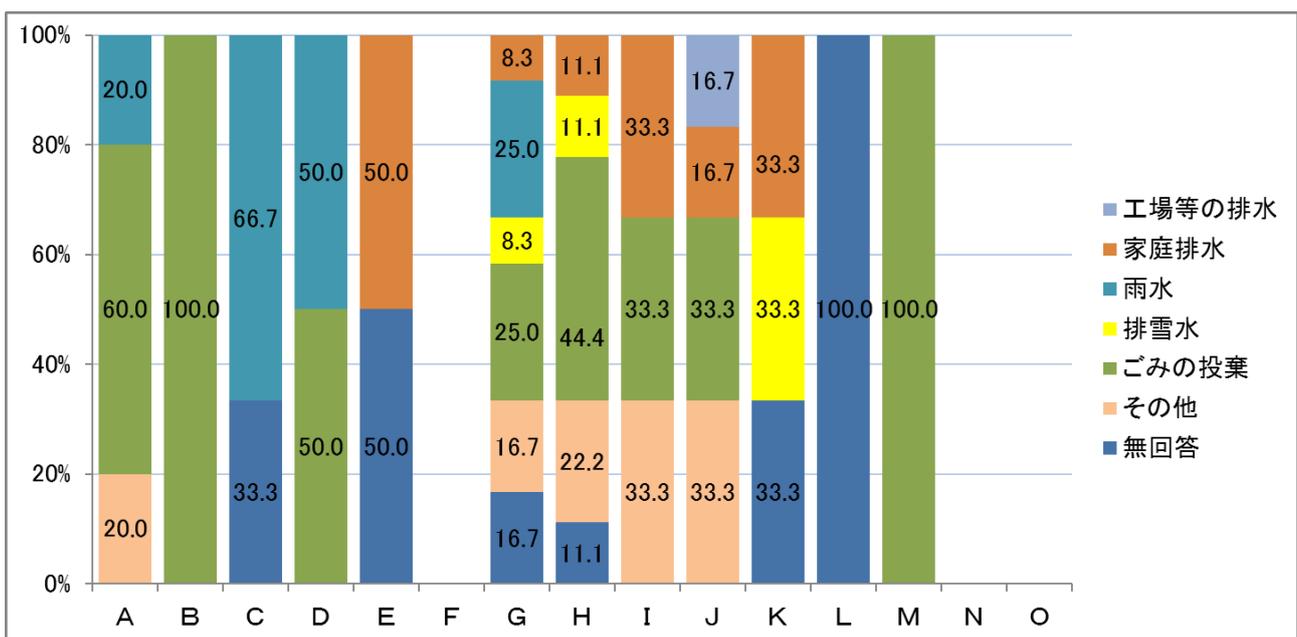
水質汚濁が「ある」との原因は、「ごみの投棄」が 38.1%（50.0%）で最も高く、A、B、D、M地域では 50%以上の回答割合となっています。

また、E地域では「家庭排水」を原因とする回答の割合が高くなっています。

なお、F、N、O地域では水質汚濁があるとの回答はありませんでした。

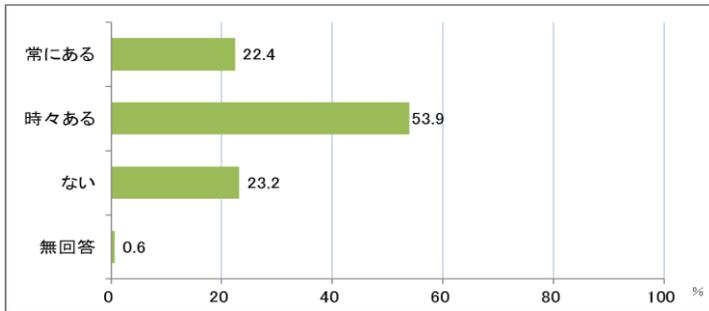


区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
工場等の排水	1	2.4	3.0
家庭排水	6	14.3	11.8
雨水	7	16.7	14.7
排雪水	3	7.1	8.8
ごみの投棄	16	38.1	50.0
その他	8	19.0	2.9
無回答	1	2.4	8.8
計	42	100.0	100.0



問3 あなたのまわりで騒音（うるさい音）がありますか。

騒音について、「常にある」と「時々ある」を合わせた回答は 76.3% (71.2%) となり、前回調査結果より 5.1 ポイント増えています。

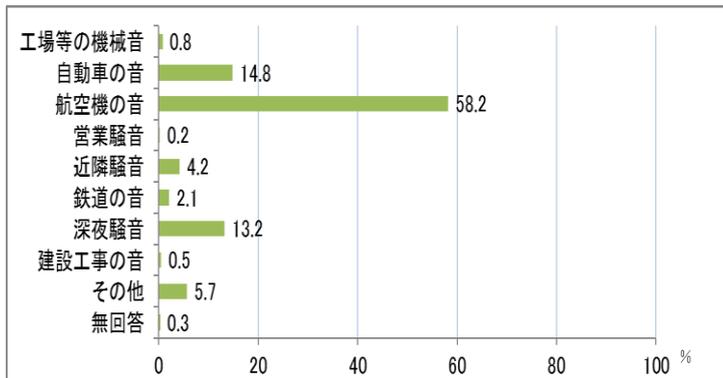


区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
常にある	113	22.4	18.3
時々ある	272	53.9	52.9
ない	117	23.2	28.0
無回答	3	0.6	0.8
計	505	100.0	100.0

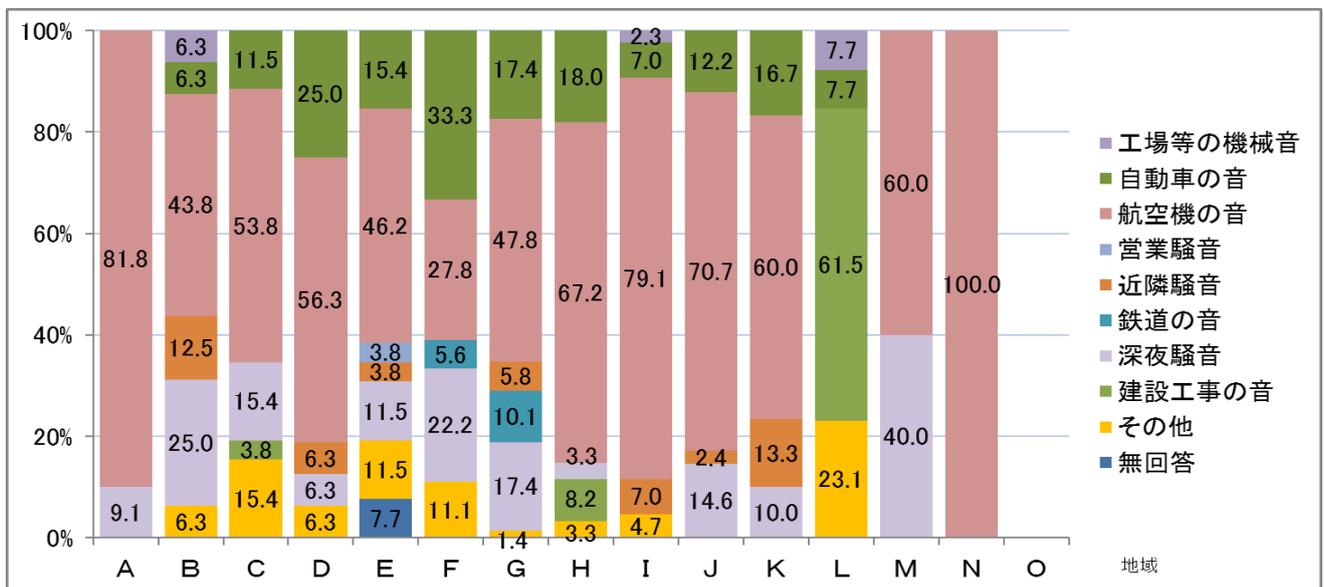
問3-1 前の設問で『常にある』、『時々ある』とお答えの方にお尋ねします。その原因となるものはなんですか。次の中から1つだけ選んでください。

騒音の原因は、「航空機の音」が 58.2% (61.9%) で最も高くなっており、前回調査から 3.7 ポイント減少しています。また、「近隣騒音」が 4.2% (2.5%)、「鉄道の音」が 2.1% (1.4%)、「深夜騒音」が 13.2% (3.4%) となっており、前回調査から割合が増加しています。地域別にみると、L地区を除く全ての地域で「航空機の音」が高い割合でしたが、L地域では「建設工事の音」が 61.5%で、ほかの地域と比べ高い割合となっています。

また、「その他」の回答として、主に大砲の音や戦車の騒音などがありました。
なおO地域は、騒音があるとの回答はありませんでした。



区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
工場等の機械音	3	0.8	0.6
自動車の音	57	14.8	9.0
航空機の音	224	58.2	61.9
営業騒音	1	0.2	0.8
近隣騒音	16	4.2	2.5
鉄道の音	8	2.1	1.4
深夜騒音	51	13.2	3.4
建設工事の音	2	0.5	3.1
その他	22	5.7	8.2
無回答	1	0.3	9.1
計	385	100.0	100.0

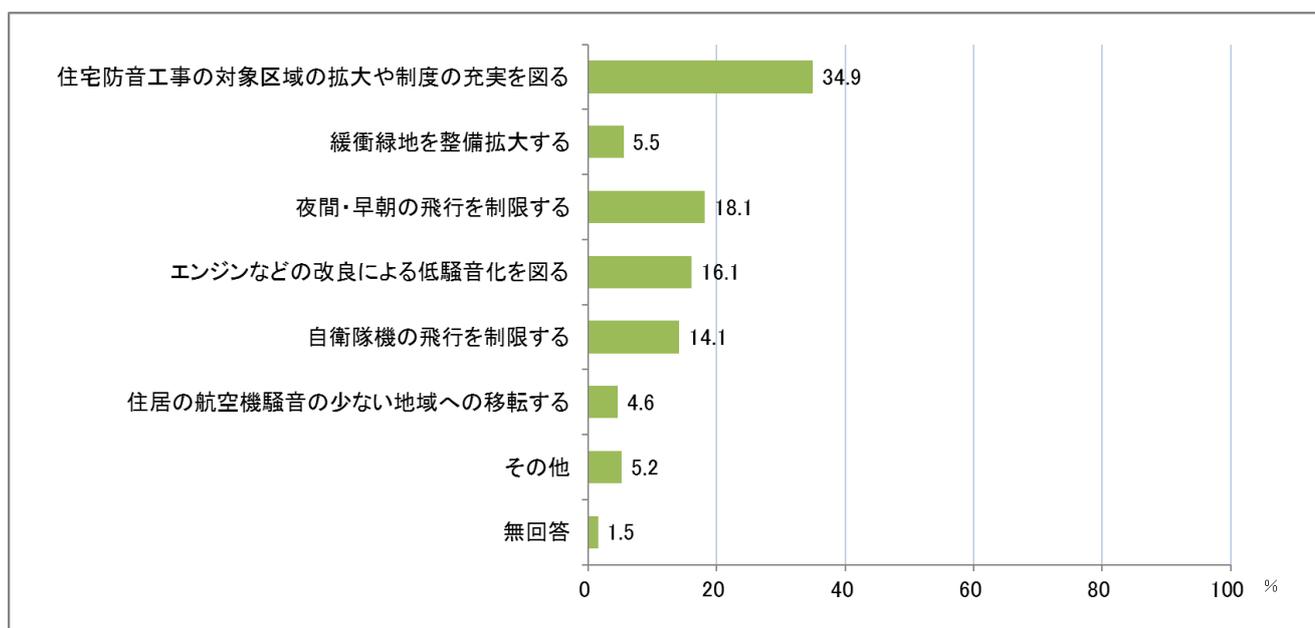


問4 あなたは航空機騒音対策をどのようにしたらよいと思いますか。次の中から2つ以内で選んでください。

航空機騒音対策は、前回調査と同様に「住宅防音工事の対象区域の拡大や制度の充実を図る」が 34.9% (36.4%) で最も高く、次いで「夜間・早朝の飛行を制限する」が 18.1% (18.3%)、「エンジンなどの改良による低騒音化を図る」が 16.1% (14.8%)、「自衛隊機の飛行を制限する」が 14.1% (13.5%) となっています。

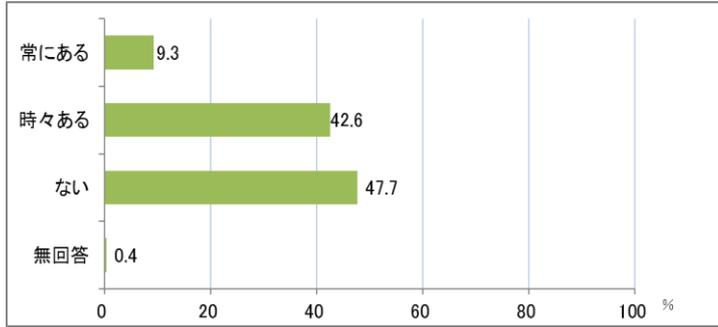
また、「その他」の回答として、現状維持や騒音を容認する回答などの意見もありました。

区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
住宅防音工事の対象区域の拡大や制度の充実を図る	274	34.9	36.4
緩衝緑地を整備拡大する	43	5.5	7.0
夜間・早朝の飛行を制限する	142	18.1	18.3
エンジンなどの改良による低騒音化を図る	126	16.1	14.8
自衛隊機の飛行を制限する	111	14.1	13.5
住居の航空機騒音の少ない地域への移転する	36	4.6	3.8
その他	41	5.2	3.1
無回答	12	1.5	3.1
計	785	100.0	100.0



問5 あなたのまわりで振動（建物、地面のゆれ）がありますか。

振動については、「常にある」と「時々ある」を合せた回答が 51.9%（50.7%）となり、前回調査と比較すると振動を感じる割合が 1.2 ポイント増加しています。

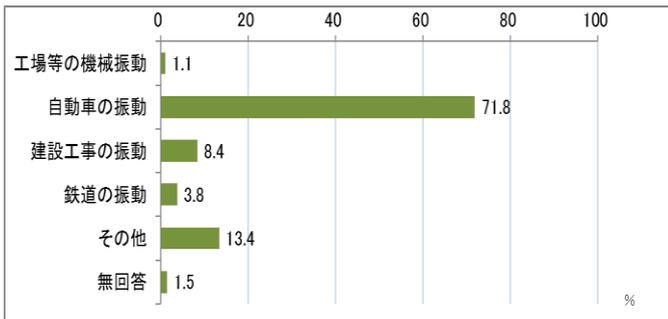


区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
常にある	47	9.3	8.0
時々ある	215	42.6	42.7
ない	241	47.7	48.1
無回答	2	0.4	1.2
計	505	100.0	100.0

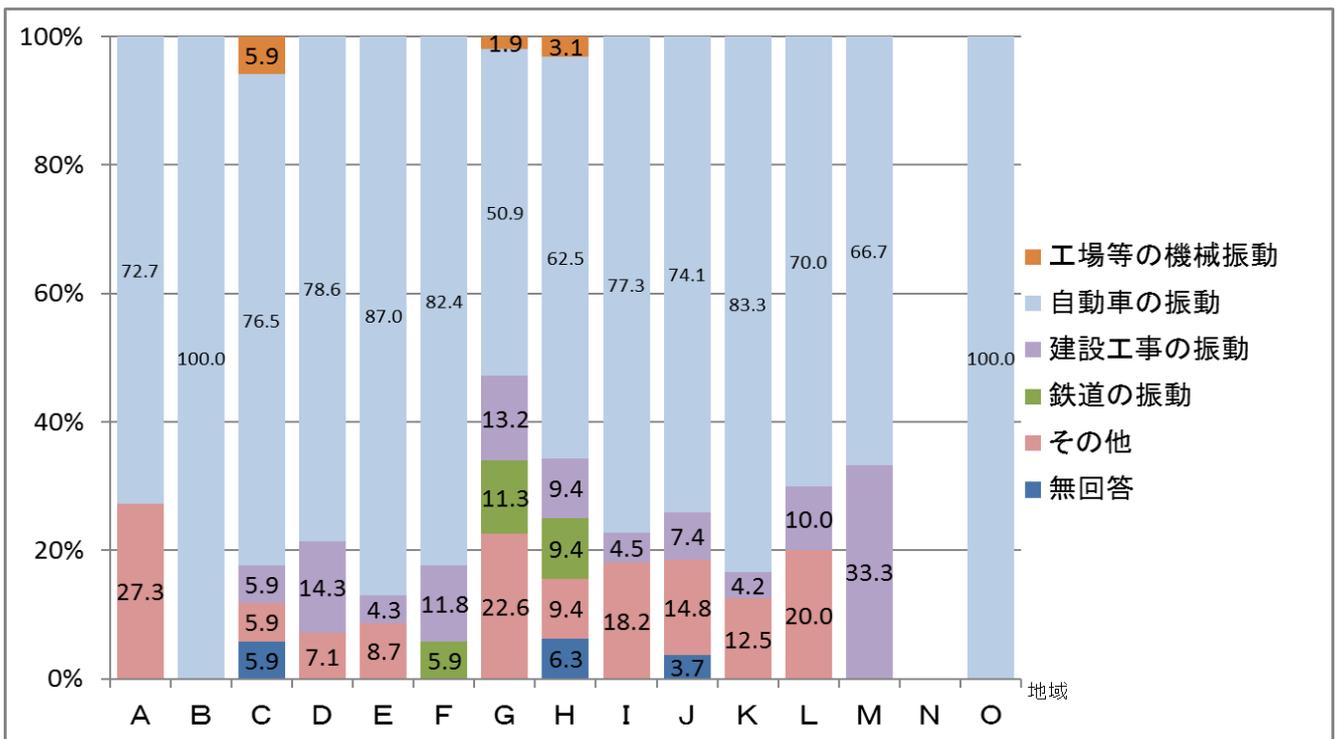
問5-1 前の設問で『常にある』、『時々ある』とお答えの方にお尋ねします。その原因となる主なものはなんですか。次の中から1つだけ選んでください。

振動の原因は、「自動車の振動」が 71.8%（72.6%）で前回調査と同様に高い割合となっており、各地域において大きな割合を占めています。G地域は、ほかの地域と比較すると「鉄道の振動」が 11.3%（15.4%）で割合が高くなっています。

また、「その他」の回答として、主に自衛隊の大砲があり、その他に戦闘機の飛行などもありました。

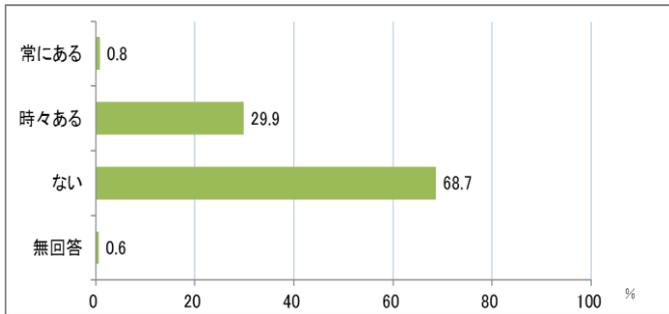


区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
工場等の機械振動	3	1.1	0.8
自動車の振動	188	71.8	72.6
建設工事の振動	22	8.4	4.0
鉄道の振動	10	3.8	4.0
その他	35	13.4	13.5
無回答	4	1.5	5.1
計	262	100.0	100.0



問6 あなたのまわりで悪臭（いやなにおい）がありますか。

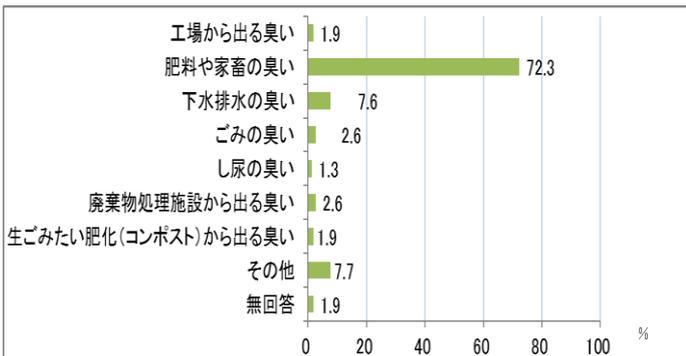
悪臭については、「常にある」と「時々ある」を合わせた回答が 30.7% (29.8%) となり、前回調査結果と比較して概ね変化がありませんでした。



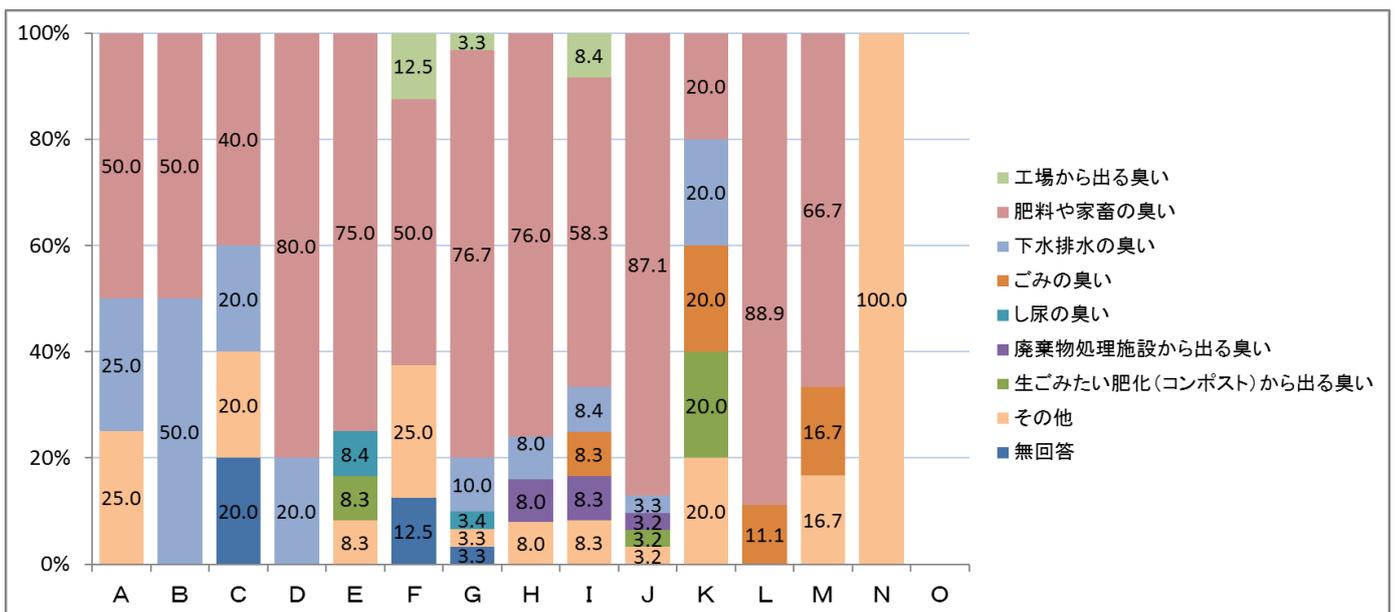
区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
常にある	4	0.8	0.8
時々ある	151	29.9	29.0
ない	347	68.7	68.8
無回答	3	0.6	1.4
計	505	100.0	100.0

問6-1 前の設問で『常にある』、『時々ある』とお答えの方にお尋ねします。その原因となるものはなんですか。次の中から1つだけ選んでください。

悪臭の原因は、「肥料や家畜の臭い」とする回答が 72.3% (77.0%) で前回調査と同様に最も高く、次いで「下水排水の臭い」、「その他」の順となっています。「その他」の回答には、近隣住宅からの臭気、暖房の臭気、たばこのなどの回答があります。ほかの地域と比較すると、B地域では「下水排水」、K地域では「肥料や家畜の臭い」、「下水排水の臭い」、「ごみの臭い」、「その他」の回答割合が高くなっています。



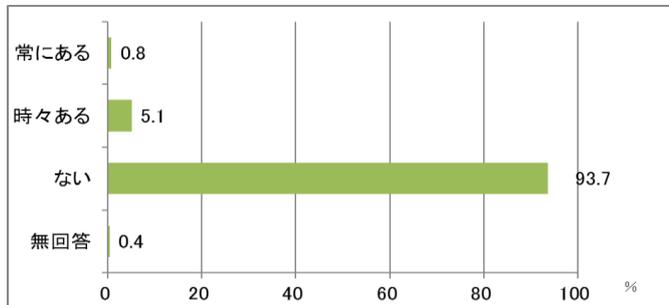
区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
工場から出る臭い	3	1.9	4.1
肥料や家畜の臭い	112	72.3	77.0
下水排水の臭い	12	7.6	5.4
ごみの臭い	4	2.6	2.7
し尿の臭い	2	1.3	3.4
廃棄物処理施設から出る臭い	4	2.6	0.0
生ごみたい肥化(コンポスト)から出る臭い	3	1.9	0.0
その他	12	7.7	4.7
無回答	3	1.9	2.7
計	155	100.0	100.0



問7 あなたのまわりで土壤汚染や地盤沈下の状況を聞いたことがありますか。

土壤汚染や地盤沈下が「ない」との回答は、前回調査より 3.5 ポイント増加し 93.7% (90.2%) となり、多くの市民が土壤汚染や地盤沈下を感じていません。

土壤汚染は石油などの有害物質の漏えい、地盤沈下は地下水の汲み上げすぎなどが原因となる場合があります。

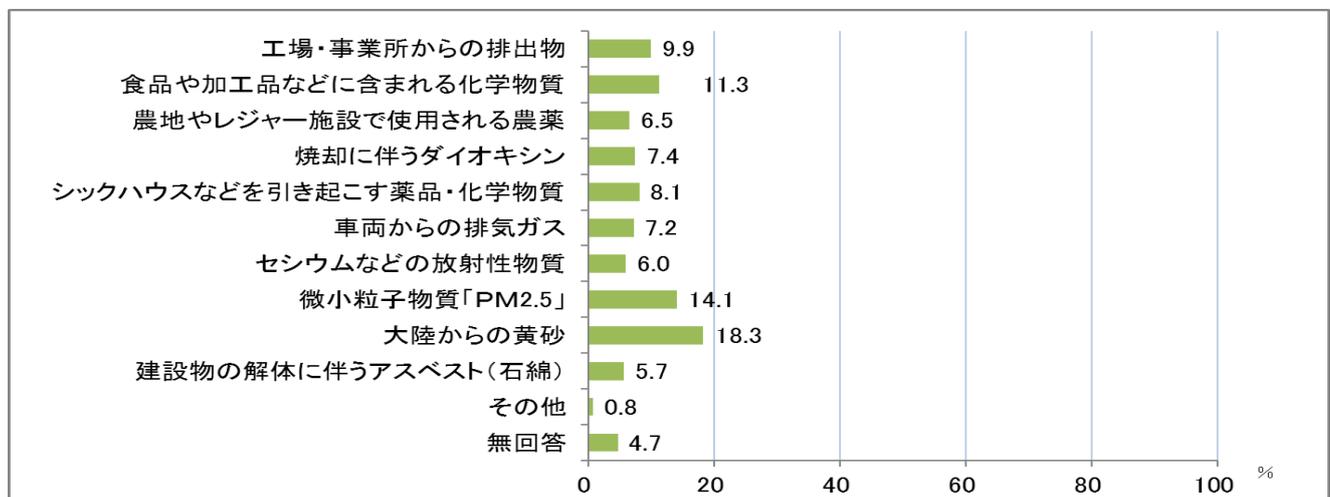


区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
常にある	4	0.8	0.6
時々ある	26	5.1	6.8
ない	473	93.7	90.2
無回答	2	0.4	2.4
計	505	100.0	100.0

問8 有害物質として、あなたが懸念するものはなんですか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

懸念する有害物質は、「大陸からの黄砂」が 18.3% (14.1%) で最も高い割合となっているほか、「微小粒子物質PM2.5」が 14.1% (15.5%)、「食品や加工品などに含まれる化学物質」11.3%(10.1%)への関心が高い結果となっています。

区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
工場・事業所からの排出物	158	9.9	7.0
食品や加工品などに含まれる化学物質	180	11.3	10.1
農地やレジャー施設で使用される農薬	103	6.5	6.0
焼却に伴うダイオキシン	118	7.4	7.5
シックハウスなどを引き起こす薬品・化学物質	129	8.1	7.2
車両からの排気ガス	115	7.2	8.1
セシウムなどの放射性物質	95	6.0	7.1
微小粒子物質「PM2.5」	225	14.1	15.5
大陸からの黄砂	291	18.3	14.1
建設物の解体に伴うアスベスト(石綿)	90	5.7	6.8
その他	13	0.8	0.5
無回答	75	4.7	10.1
計	1,592	100.0	100.0



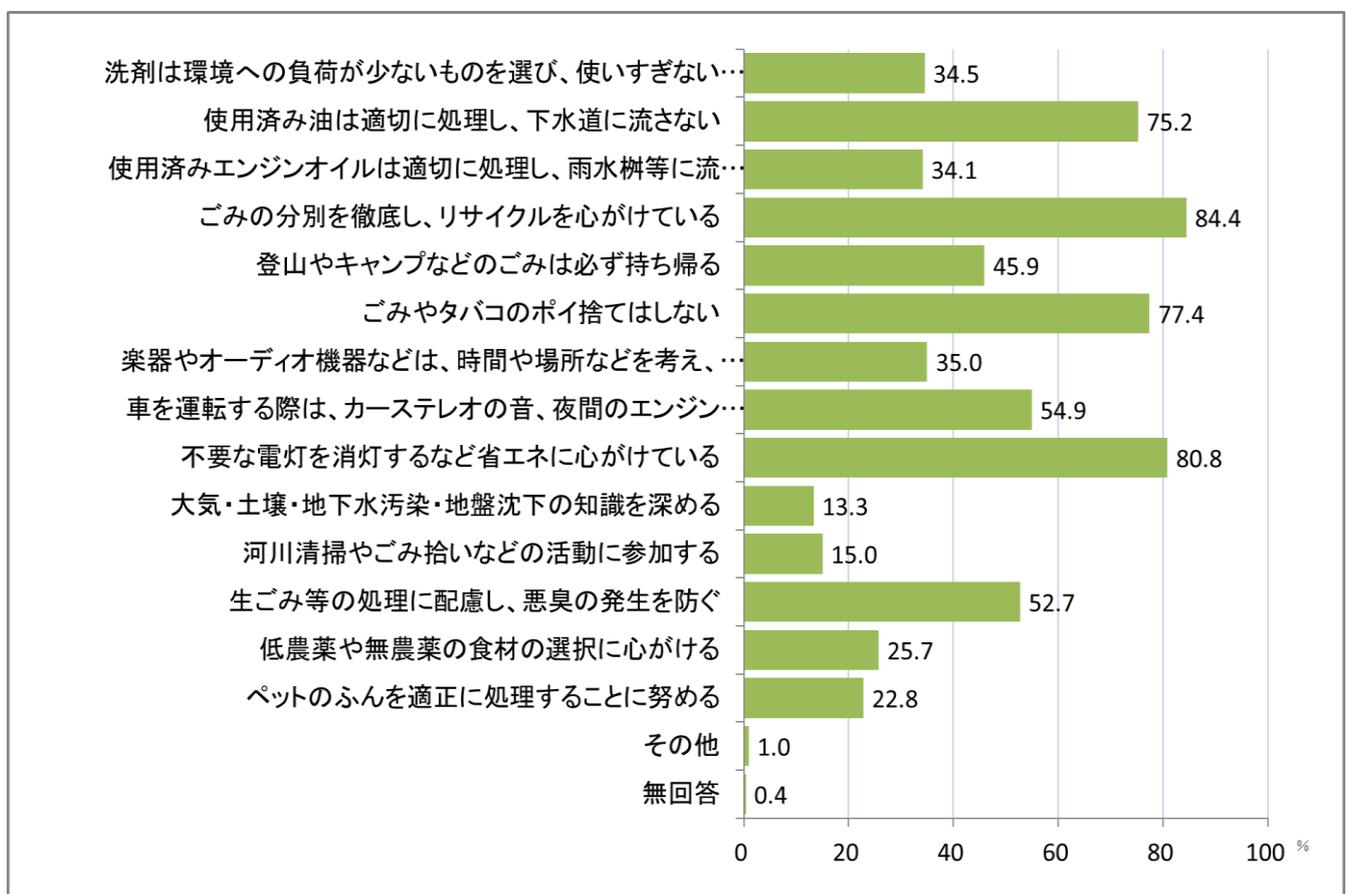
問9 環境に配慮する行動について、あなたやあなたのご家庭で実行していることをすべて選んでください。

実行しているとの回答が高いものは、「ごみの分別を徹底し、リサイクルを心がけている」84.4% (88.7%)、「不要な電灯を消灯するなど省エネに心がけている」80.8% (80.3%)、「ごみやタバコのポイ捨てはしない」77.4% (80.5)、「使用済み油は、下水道に流さない」75.2% (78.5%) となっています。

また、大きく割合が増減したものは、「使用済みエンジンオイルは適切に処理し、雨水桝に等に流さない」が6.5ポイント減少しています。

区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
洗剤は環境への負荷が少ないものを選び、使いすぎないようにする	174	34.5	34.0
使用済み油は適切に処理し、下水道等に流さない	380	75.2	78.5
使用済みエンジンオイルは適切に処理し、雨水桝等に流さない	172	34.1	40.6
ごみの分別を徹底し、リサイクルを心がけている	426	84.4	88.7
登山やキャンプなどのごみは必ず持ち帰る	232	45.9	48.3
ごみやタバコのポイ捨てはしない	391	77.4	80.5
楽器やオーディオ機器などは、時間や場所などを考え、迷惑のかからない使い方をする	177	35.0	39.8
車を運転する際は、カーステレオの音、夜間のエンジン音などに配慮し、迷惑とならないように気をつけたり、不要なアイドリングは行わない	277	54.9	56.7
不要な電灯を消灯するなど省エネに心がけている	408	80.8	80.3
大気・土壌・地下水汚染・地盤沈下の知識を深める	67	13.3	13.1
河川清掃やごみ拾いなどの活動に参加する	76	15.0	16.9
生ごみ等の処理に配慮し、悪臭の発生を防ぐ	266	52.7	53.1
低農薬や無農薬の食材の選択に心がける	130	25.7	27.0
ペットのふんを適正に処理することに努める	115	22.8	22.9
その他	5	1.0	1.4
無回答	2	0.4	0.8
計	3,298	653.1	682.6

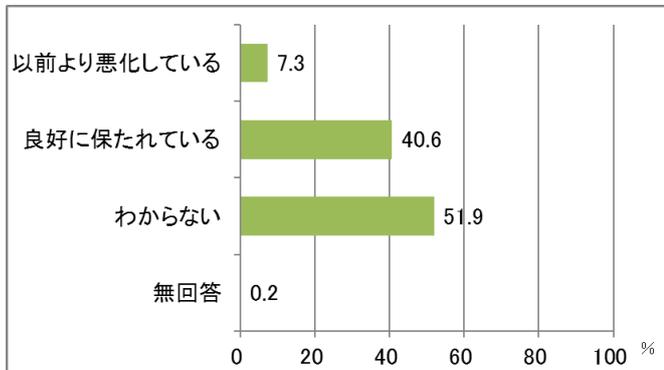
※今回調査の割合 (%) は、有効回答数 505 件に対する割合である。



3 自然環境の設問

問 10 千歳川の環境について、あなたはどのように感じていますか。

千歳川の環境については、「環境が以前より悪化している」が 7.3% (6.4%) で前回調査と概ね変化がみられませんでした。「環境が良好に保たれている」が 40.6% (43.7%) で 3.1 ポイント減少しています。また、「わからない」との回答が 51.9% (49.5%) ありました。



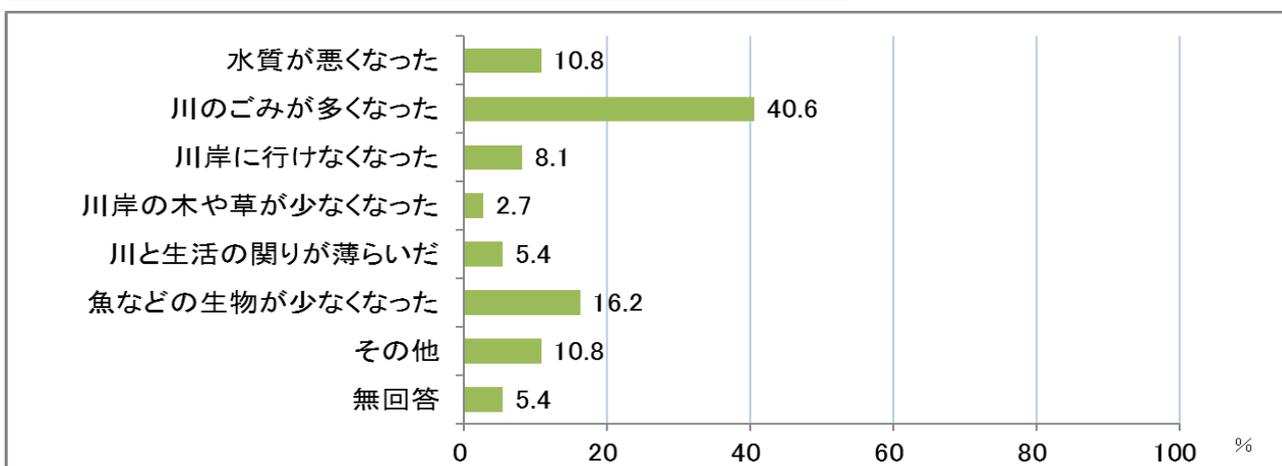
区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
以前より悪化している	37	7.3	6.4
良好に保たれている	205	40.6	43.7
わからない	262	51.9	49.5
無回答	1	0.2	0.4
計	505	100.0	100.0

問 10-1 前の設問で『環境が以前より悪化している』とお答えの方にお尋ねします。その原因はなんですか。次の中から 1 つだけ選んでください。

千歳川の「環境が以前より悪化している」原因は、「川のごみが多くなった」が 40.6% (28.1%) で最も高く、次に、「魚などの生物が少なくなった」16.2% (9.4%)、「水質が悪くなった」10.8% (9.4%) の順となっています。

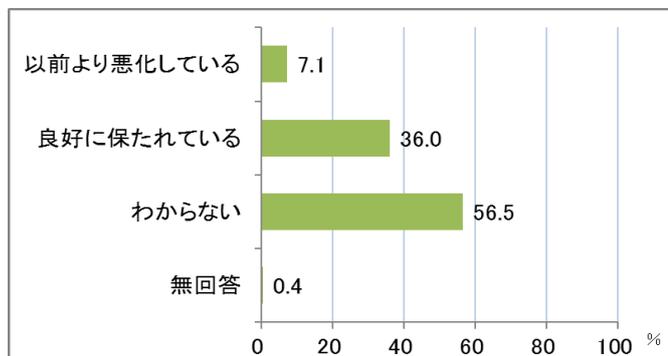
また、「その他」の回答として、川の周りに生えている植物の種類が変化しているなどがありました。

区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
水質が悪くなった	4	10.8	9.4
川のごみが多くなった	15	40.6	28.1
川岸に行けなくなった	3	8.1	6.2
川岸の木や草が少なくなった	1	2.7	3.2
川と生活の関りが薄らいだ	2	5.4	6.2
魚などの生物が少なくなった	6	16.2	9.4
その他	4	10.8	12.5
無回答	2	5.4	25.0
計	37	100.0	100.0



問 11 支笏湖の環境について、あなたはどのように感じていますか。

支笏湖の環境については、環境が「良好に保たれている」との回答が 36.0% (37.8%) で前回調査より 1.8 ポイント減少し、「以前より悪化している」との回答が 7.1% (4.6%) で 2.5 ポイント増加しています。また、「わからない」との回答が 56.5% (56.4%) で前回調査と同様に最も高くなっています。



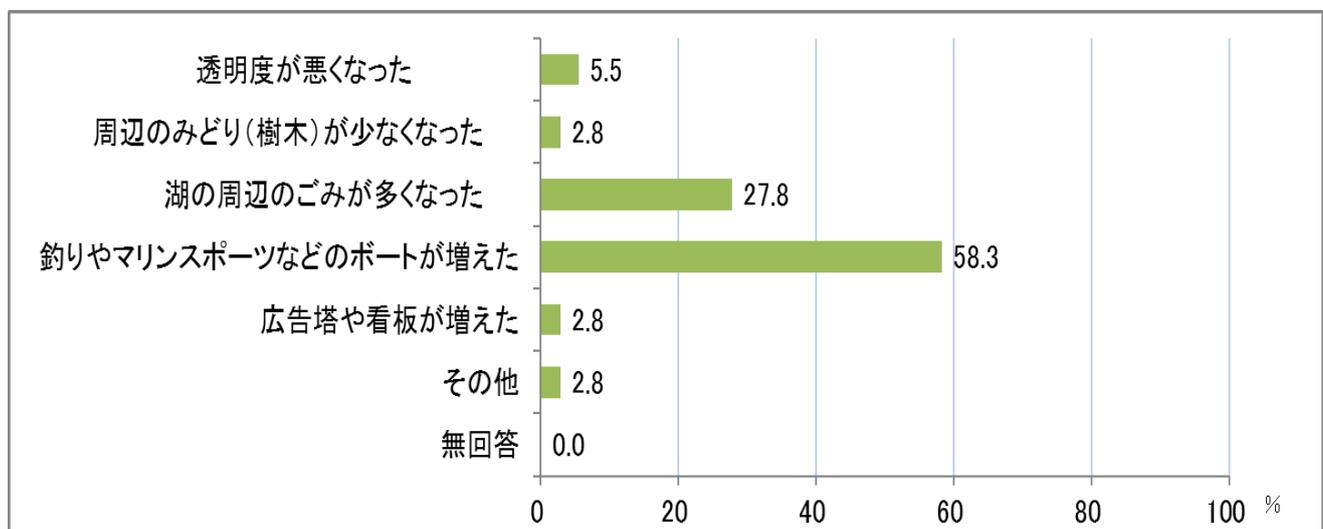
区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
以前より悪化している	36	7.1	4.6
良好に保たれている	182	36.0	37.8
わからない	285	56.5	56.4
無回答	2	0.4	1.2
計	505	100.0	100.0

問 11-1 前の設問で『1. 以前より悪化している』とお答えの方にお尋ねします。その原因はなんですか。次の中から 1 つだけ選んでください。

支笏湖の環境悪化の原因は、「釣りやマリンスポーツなどのボートが増えた」が 45.3 ポイント増加し 58.3% (13.0%) で最も高くなっているほか、「湖周辺のごみが多くなった」が 27.8% (47.8%) と減少しています。

また、「その他」の回答として、水中の外来種が多くなったなどがありました。

区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
透明度が悪くなった	2	5.5	13.1
周辺のみどり(樹木)が少なくなった	1	2.8	4.3
湖周辺のごみが多くなった	10	27.8	47.8
釣りやマリンスポーツなどのボートが増えた	21	58.3	13.0
広告塔や看板が増えた	1	2.8	4.4
その他	1	2.8	17.4
無回答	0	0.0	0.0
計	36	100.0	100.0

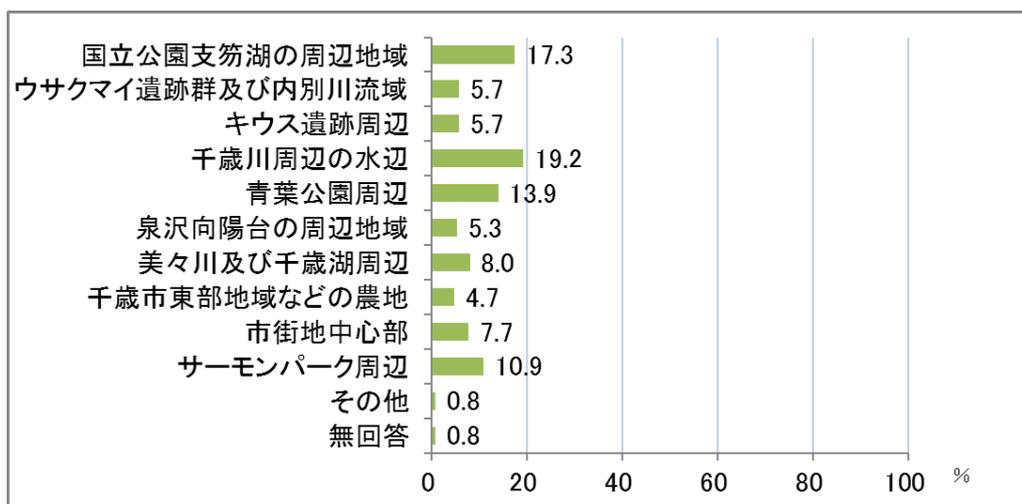


問12 あなたが自然環境を特に守っていききたいと思う地域は次のどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。

自然環境を特に守っていききたい地域は、回答割合が高いものから「千歳川周辺の水辺」19.2% (20.1%)、「国立公園支笏湖の周辺地域」17.3% (19.8%)、「青葉公園周辺」13.9% (14.7%)、「サーモンパーク周辺」10.9% (13.1%)の順となっており、これらの地域を合わせると6割となります。

また、「その他」として、空港周辺や根志越排水路などの回答がありました。

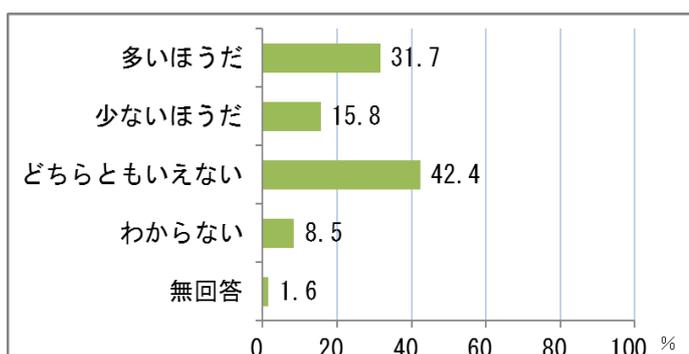
区分	回答数	割合(%)	
		今回調査	前回調査
国立公園支笏湖の周辺地域	341	17.3	19.8
ウサクマイ遺跡群及び内別川流域	113	5.7	6.1
キウス遺跡周辺	112	5.7	4.2
千歳川周辺の水辺	379	19.2	20.1
青葉公園周辺	275	13.9	14.7
泉沢向陽台の周辺地域	105	5.3	5.3
美々川及び千歳湖周辺	157	8.0	6.1
千歳市東部地域などの農地	92	4.7	3.3
市街地中心部	153	7.7	6.0
サーモンパーク周辺	215	10.9	13.1
その他	15	0.8	0.4
無回答	15	0.8	0.9
計	1,972	100.0	100.0



問13 千歳の市街地は、みどり（樹木）が多いと思いますか。

千歳の市街地のみどり（樹木）については、「多いほうだ」との回答が31.7% (31.6%)で前回調査からほとんど変化はなく、「少ないほうだ」との回答が15.8% (20.9%)で5.1ポイント減少しています。

また、「どちらともいえない」との回答が42.4% (37.2%)で5.2ポイント増加となっています。



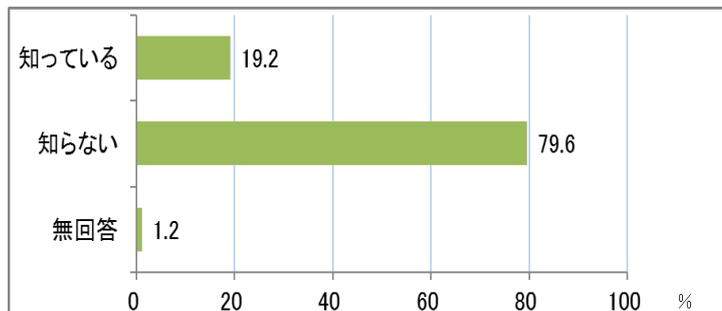
区分	回答数	割合(%)	
		今回調査	前回調査
多いほうだ	160	31.7	31.6
少ないほうだ	80	15.8	20.9
どちらともいえない	214	42.4	37.2
わからない	43	8.5	7.1
無回答	8	1.6	3.2
計	505	100.0	100.0

問 14 千歳市では、ウサクマイ遺跡群及び内別川流域、千歳川（王子製紙（株）千歳第四発電所の下流 400 mから内別川合流地点ほか）及び青葉公園全域を市が独自の自然環境保全地区に指定しています。ご存じですか。

※自然環境保全地区とは、貴重な生態系を維持するため、重要な役割を果たす自然地域や生物多様性に富んでいる地域を保全するため指定した区域のことです。

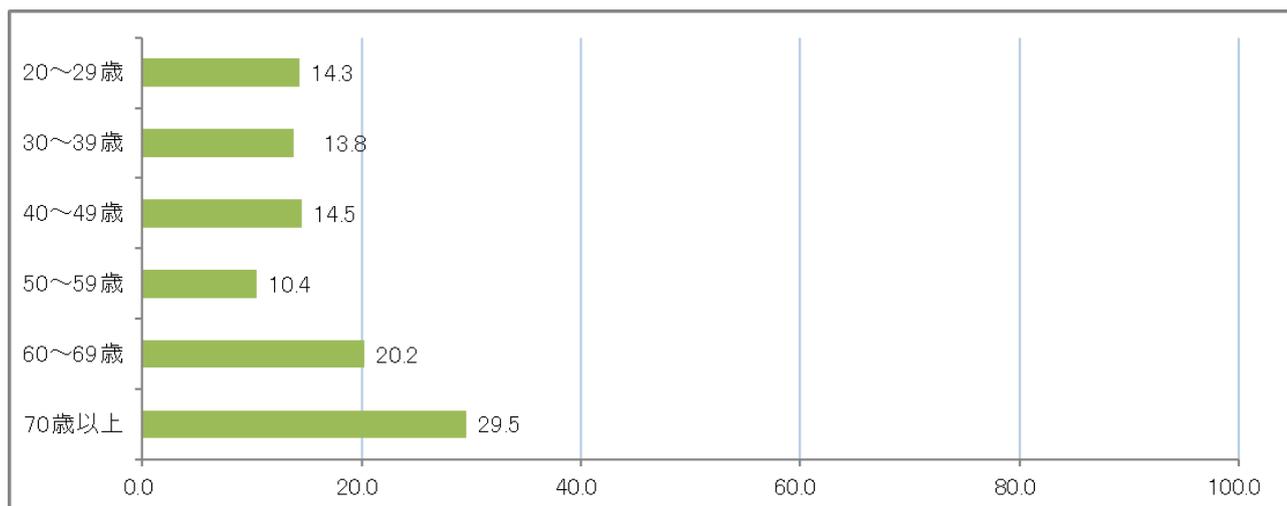
千歳市自然環境保全条例に基づき自然環境保全地区に指定している地域について、市民の認知度を把握するものです。

「知っている」との回答は 19.2%（18.7%）で前回調査とほぼ同割合となっています。



区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
知っている	97	19.2	18.7
知らない	402	79.6	79.3
無回答	6	1.2	2.0
計	505	100.0	100.0

自然環境保全地区の認知度について、年代が高くなるごとに増加傾向にあり、70歳以上では 29.5%との割合となっています。



【千歳市自然環境保全地区】

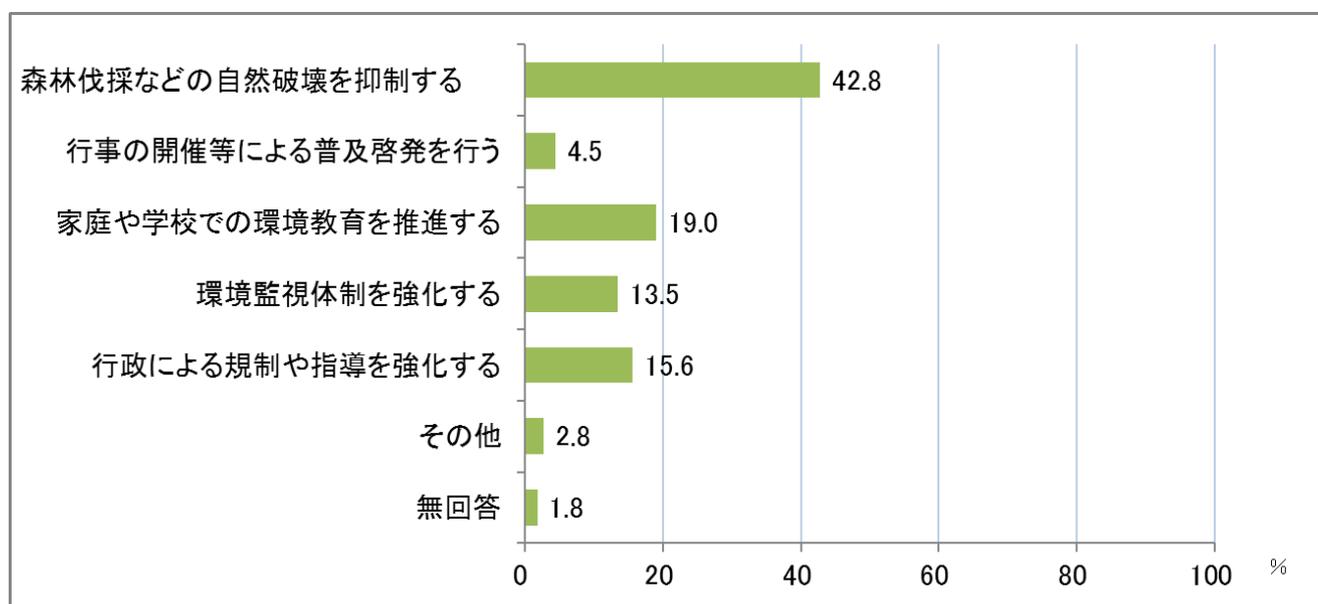
千歳市自然環境保全地区は、貴重な生態系を維持する上で重要な役割を果たす自然地域や、生物の多様性に富んでいる地域を保全するため、千歳市自然環境保全条例第10条の規定に基づき指定するものです。保全地区内において、工作物の新築、改築、増築や土地の形質変更、木竹の伐採、火入れ又はたき火などの行為を行うときは、市長に届出が必要となります。

第1種自然環境保全地区は、厳格に保護・保存する地区で、内別川や千歳川周辺及びウサクマイ遺跡群の241.6ヘクタールを指定しています。また、第2種自然環境保全地区は、市民が適正に利用・活用しながら保全する地区として青葉公園の102.3ヘクタールを指定しています。

問 15 千歳の自然を守るにはどうしたらよいと思いますか。

千歳の自然を守る方法については、「森林の伐採を抑制する」が 42.8% (30.0%) と最も高く、次に、「家庭や学校での環境教育を推進する」が 19.0% (21.5%)、「行政による規制や指導を強化する」が 15.6% (15.3%) となっています。

区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
森林伐採などの自然破壊を抑制する	216	42.8	30.0
行事の開催等による普及啓発を行う	23	4.5	9.4
家庭や学校での環境教育を推進する	96	19.0	21.5
環境監視体制を強化する	68	13.5	10.5
行政による規制や指導を強化する	79	15.6	15.3
その他	14	2.8	0.8
無回答	9	1.8	12.5
計	505	100.0	100.0



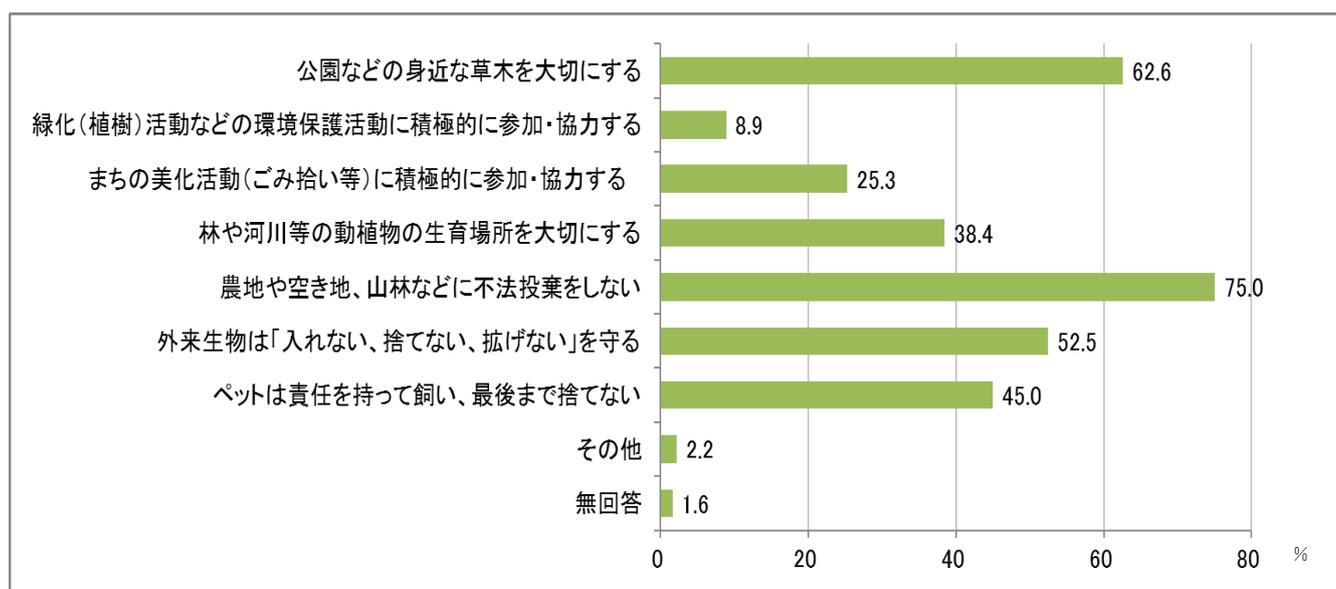
問 16 自然環境に配慮する行動について、あなたやあなたのご家庭で実行しているものをすべて選んでください。

実行している割合が高いものは、「農地や空き地、山林などに不法投棄をしない」75.0% (78.9%)、「公園などの身近な草木を大切にす」62.6% (62.8%)、「外来生物は入れない、捨てない、拡げないを守る」52.5% (50.5%) となっています。

また、「林や河川等の動植物の生育場所を大切にす」は前回調査より 1.4 ポイント減少し 38.4% (39.8%) となっています。

区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
公園などの身近な草木を大切にす	316	62.6	62.8
緑化(植樹)活動などの環境保護活動に積極的に参加・協力す	45	8.9	8.7
まちの美化活動(ごみ拾い等)に積極的に参加・協力す	128	25.3	28.8
林や河川等の動植物の生育場所を大切にす	194	38.4	39.8
農地や空き地、山林などに不法投棄をしない	379	75.0	78.9
外来生物は「入れない、捨てない、拡げない」を守る	265	52.5	50.5
ペットは責任を持って飼い、最後まで捨てない	227	45.0	42.7
その他	10	2.0	1.2
無回答	8	1.6	1.6
計	1,572	311.3	315.0

※ 割合 (%) は、有効回答数 505 件に対する割合である。

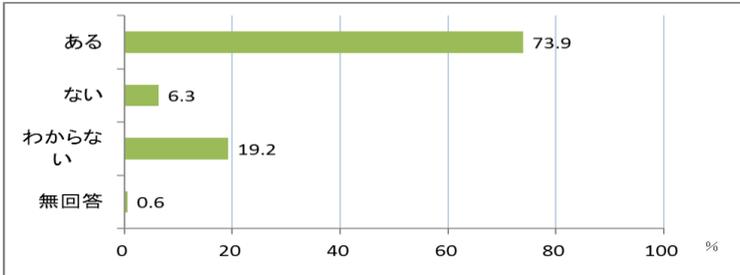


4 地球環境の設問

問 17 あなたは、地球環境問題に関心がありますか。

地球温暖化やオゾン層の破壊など地球規模の環境問題に関する意識調査を尋ねる設問です。

地球環境問題への関心が「ある」との回答は、73.9% (75.7%) で前回調査より 1.8 ポイント減少し、「ない」との回答は 6.3% (4.0%) で 2.3 ポイント増加しています。

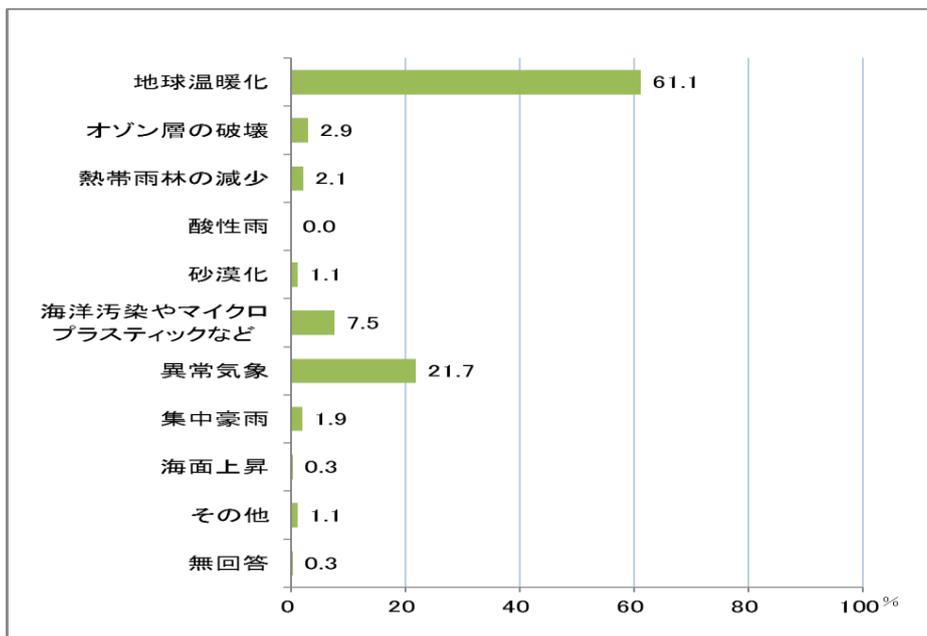


区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
ある	373	73.9	75.7
ない	32	6.3	4.0
わからない	97	19.2	18.7
無回答	3	0.6	1.6
計	505	100.0	100.0

問 17-1 前の設問で『ある』とお答えの方にお尋ねします。関心のあるものはなんですか。特に思うものを次の中から1つだけ選んでください。

関心のある地球環境問題は、「地球温暖化」が 61.1% (61.2%) で前回調査と同様に高い割合となっています。次いで「異常気象」が 21.7% (-)、「海洋汚染やマイクロプラスチックなど」が 7.5% (12.2%) となっています。

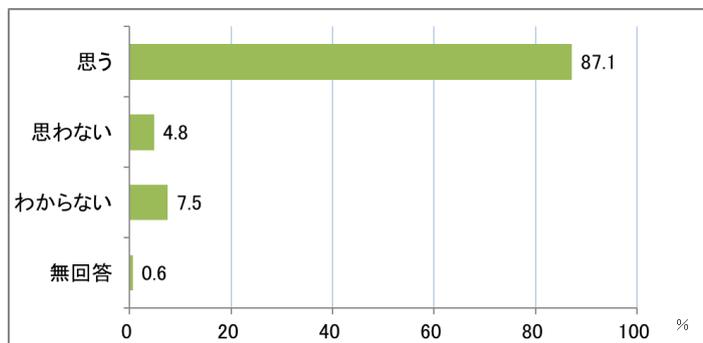
区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
地球温暖化	228	61.1	61.2
オゾン層の破壊	11	2.9	6.1
熱帯雨林の減少	8	2.1	5.3
酸性雨	0	0.0	1.1
砂漠化	4	1.1	1.8
海洋汚染やマイクロプラスチックなど	28	7.5	12.2
異常気象	81	21.7	-
集中豪雨	7	1.9	-
海面上昇	1	0.3	-
その他	4	1.1	1.1
無回答	1	0.3	11.2
計	373	100.0	100.0



問 18 現在、地球温暖化が進行していると思いますか。

地球温暖化の進行は、進行していると「思う」との回答が 87.1% (82.9%) であり、前回調査と同様に高い割合となっています。

また、「思わない」との回答が 4.8% (3.8%) となっています。

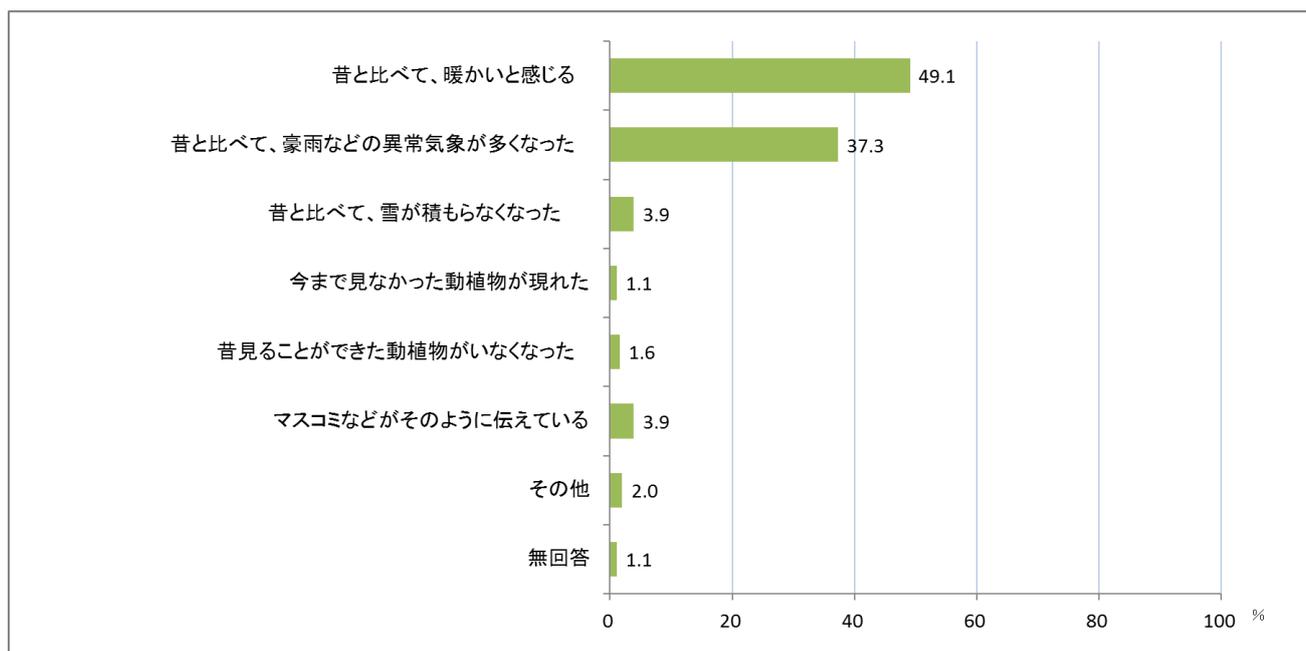


区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
思う	440	87.1	82.9
思わない	24	4.8	3.8
わからない	38	7.5	11.7
無回答	3	0.6	1.6
計	505	100.0	100.0

問 18-1 前の設問で『思う』とお答えの方にお尋ねします。その理由はなんですか。特に思うものを次の中から 1 つだけ選んでください。

地球温暖化が進行していると思う理由は、「昔と比べて、暖かいと感じる」が 49.1% (14.8%) で前回調査より 34.3 ポイント増加し最も高くなっています。次に「昔と比べて、豪雨などの異常気象が多くなった」が 37.3% (60.5%) で、前回調査より 23.2 ポイント減少しています。

区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
昔と比べて、暖かいと感じる	216	49.1	14.8
昔と比べて、豪雨などの異常気象が多くなった	164	37.3	60.5
昔と比べて、雪が積もらなくなった	17	3.9	8.7
今まで見なかった動植物が現れた	5	1.1	0.2
昔見ることができた動植物がいなくなった	7	1.6	0.7
マスコミなどがそのように伝えている	17	3.9	2.9
その他	9	2.0	1.0
無回答	5	1.1	11.2
計	440	100.0	100.0



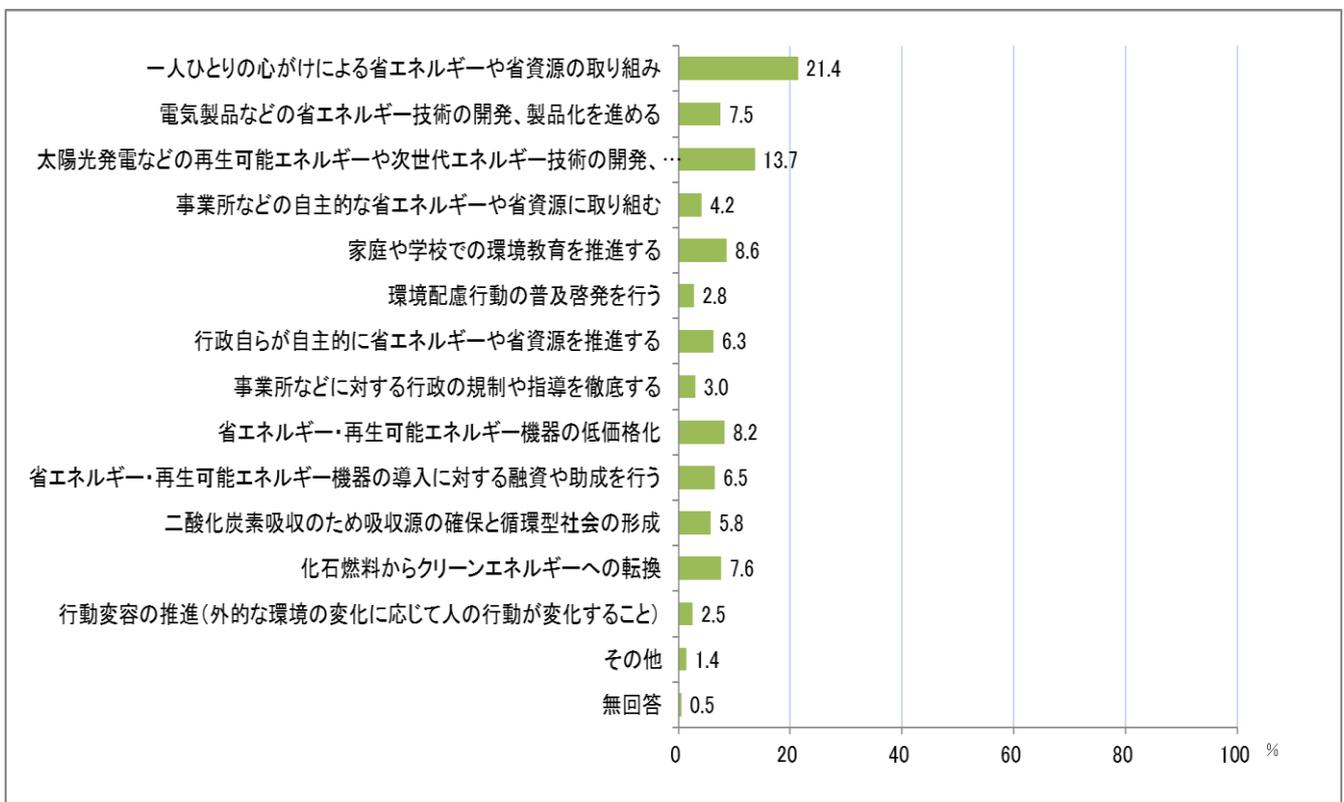
問 19 あなたは、地球温暖化対策として必要なことは、どのような取組だと思えますか。次の中から3つ以内で選んでください。

「一人ひとりの心がけによる省エネルギーや省資源の取り組み」が 21.4% (22.8%) で最も高く、次に「太陽光発電などの新エネルギー機器の技術の開発、活用を進める」が 13.7% (12.8%)、「家庭や学校での環境教育を推進する」が 8.6% (10.5%)、「省エネルギー・再生可能エネルギー機器の低価格化」が 8.2% (8.1%)、今回新たに追加した区分「化石燃料からクリーンエネルギーへの転換」が 7.6%、といった順になっています。

また、「その他」の回答として、「世界の大国が本気で取り組んでくれないと焼け石に水である」などがありました。

区分	回答数	割合(%)	
		今回調査	前回調査
一人ひとりの心がけによる省エネルギーや省資源の取り組み	281	21.4	22.8
電気製品などの省エネルギー技術の開発、製品化を進める	98	7.5	6.0
太陽光発電などの再生可能エネルギーや次世代エネルギー技術の開発、活用を進める	180	13.7	12.8
事業所などの自主的な省エネルギーや省資源に取り組む	55	4.2	6.4
家庭や学校での環境教育を推進する	113	8.6	10.5
環境配慮行動の普及啓発を行う	36	2.8	3.0
行政自らが自主的に省エネルギーや省資源を推進する	83	6.3	6.3
事業所などに対する行政の規制や指導を徹底する	39	3.0	3.5
省エネルギー・再生可能エネルギー機器の低価格化	108	8.2	8.1
省エネルギー・再生可能エネルギー機器の導入に対する融資や助成を行う	85	6.5	5.9
二酸化炭素吸収のため吸収源の確保と循環型社会の形成	76	5.8	11.6
化石燃料からクリーンエネルギーへの転換	100	7.6	—
行動変容の推進(外的な環境の変化に応じて人の行動が変化すること)	33	2.5	—
その他	18	1.4	0.8
無回答	6	0.5	2.3
計	1,311	100.0	100.0

※「—」は、回答区分がないことを意味する。



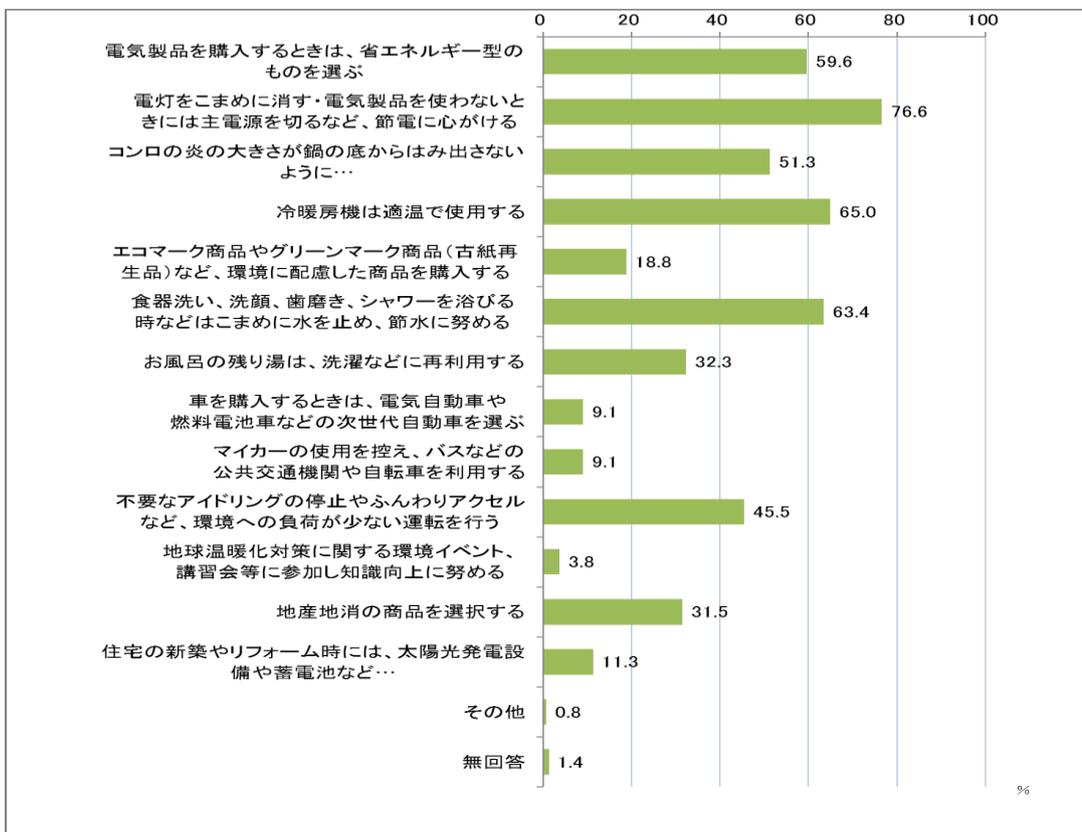
問 20 地球温暖化対策の行動について、あなたやあなたのご家庭で実行しているものをすべて選んでください。

「実行している」との回答が 50%を超えているものは、「電灯をこまめに消す・電気製品を使わないときには主電源を切るなど、節電に心がける」76.6% (76.7%)、「冷暖房機は適温で使用する」65.0% (66.4%)、「食器洗い、洗顔、歯磨き、シャワーを浴びる時などはこまめに水を止め、節水に努める」63.4% (64.8%)、「電化製品を購入するときは、省エネルギー型のものを選ぶ」59.6% (59.8%)、「コンロの炎の大きさが鍋の底からはみ出さないようにするなど、ガスを無駄にしないように心がける」51.3% (50.7%) となっています。

また、前回調査と比較し「実行している」の割合が減少したものは、「お風呂の残り湯は、洗濯などに再利用する」が 32.3% (39.8%) で 7.5 ポイント減少となっています。

区分	回答数	割合(%)	
		今回調査	前回調査
電気製品を購入するときは、省エネルギー型のものを選ぶ	301	59.6	59.8
電灯をこまめに消す・電気製品を使わないときには主電源を切るなど、節電に心がける	387	76.6	76.7
コンロの炎の大きさが鍋の底からはみ出さないようにするなど、ガスを無駄に使用しないように心がける	259	51.3	50.7
冷暖房機は適温で使用する	328	65.0	66.4
エコマーク商品やグリーンマーク商品(古紙再生品)など、環境に配慮した商品を購入する	95	18.8	19.1
食器洗い、洗顔、歯磨き、シャワーを浴びる時などはこまめに水を止め、節水に努める	320	63.4	64.8
お風呂の残り湯は、洗濯などに再利用する	163	32.3	39.8
車を購入するときは、電気自動車や燃料電池車などの次世代自動車を選ぶ	46	9.1	31.4
マイカーの使用を控え、バスなどの公共交通機関や自転車を利用する	46	9.1	13.1
不要なアイドリングの停止やふんわりアクセルなど、環境への負荷が少ない運転を行う	230	45.5	45.7
地球温暖化対策に関する環境イベント、講習会等に参加し知識向上に努める	19	3.8	3.6
地産地消の商品を選択する	159	31.5	30.8
住宅の新築やリフォーム時には、太陽光発電設備の設置の検討や蓄電池などのエネルギー効率の高い	57	11.3	13.1
その他	4	0.8	1.0
無回答	7	1.4	4.2
計	2,421	479.5	520.2

※ 割合 (%) は、有効回答数 505 件に対する割合である。



問 21 家庭における温室効果ガス排出削減のため、普及が重要と考える機器はありますか。次の中から1つだけ選んでください。

回答割合が高いものは「太陽光発電システム」27.7% (28.8%)、「電気自動車」11.3% (7.0%)であり、このうち「電気自動車」は前回調査より4.3ポイント増加となっています。

また、前回調査より割合が減少したものとしては、「燃料電池(水素)自動車」が6.7% (15.1%)で5.7ポイント、「家庭用燃料電池(エネファーム)」が4.0% (5.9%)で1.9ポイント減少となっているほか、今回新たに追加した区分「蓄電池」が5.9%となっています。

なお、「その他」の回答として、「特にどの機器が普及すれば良いかとは分からない」などがありました。

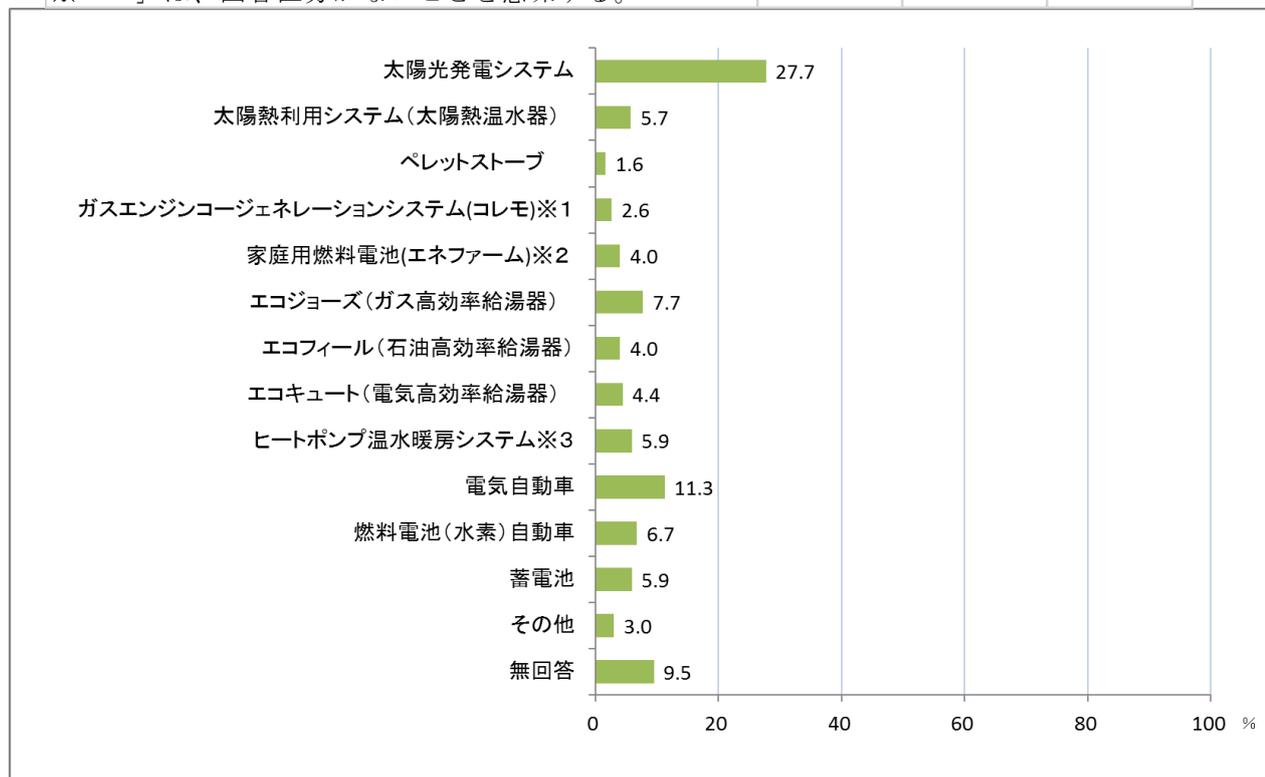
区分	回答数	割合(%)	
		今回調査	前回調査
太陽光発電システム	140	27.7	28.8
太陽熱利用システム(太陽熱温水器)	29	5.7	5.6
ペレットストーブ	8	1.6	0.2
ガスエンジンコージェネレーションシステム(コレモ)※1	13	2.6	2.8
家庭用燃料電池(エネファーム)※2	20	4.0	5.9
エコジョーズ(ガス高効率給湯器)	39	7.7	7.1
エコフィール(石油高効率給湯器)	20	4.0	1.8
エコキュート(電気高効率給湯器)	22	4.4	2.2
ヒートポンプ温水暖房システム※3	30	5.9	6.8
電気自動車	57	11.3	7.0
燃料電池(水素)自動車	34	6.7	15.1
蓄電池	30	5.9	—
その他	15	3.0	1.8
無回答	48	9.5	14.9
計	505	100.0	100.0

※1 ガスを利用し発電する際に、排熱を給湯などに有効活用するシステム

※2 水素と酸素を利用し発電する際に、排熱を給湯などに有効活用するシステム

※3 外気の熱を建物内に取り込み温水をつくり、暖房に活用するシステム

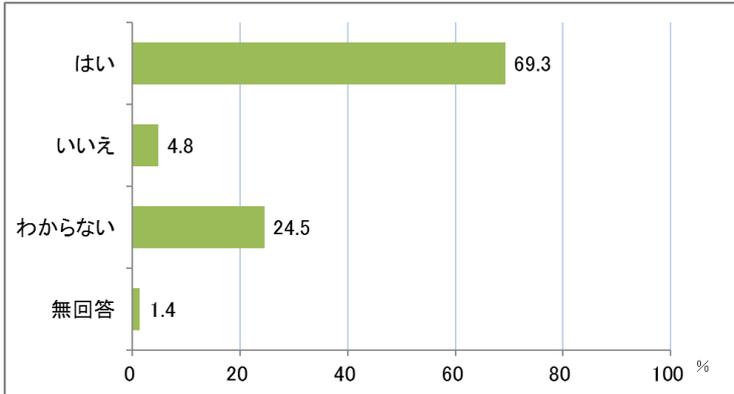
※「—」は、回答区分がないことを意味する。



5 廃棄物対策の設問

問 22 廃棄物対策について、あなたは、ごみ発生の抑制や物品の再使用・再資源として活用に努めていますか（3Rの推進）。

ごみの発生抑制や物品の再使用・再資源化に努める3R（ごみを出さない（Reduce リデュース）、くり返して使う（Reuse リユース）、再資源化（Recycle リサイクル））の取り組みについては、69.3%（68.4%）が「はい」と回答していますが、「わからない」との回答も24.5%（20.5%）ありました。



区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
はい	350	69.3	68.4
いいえ	24	4.8	6.9
わからない	124	24.5	20.5
無回答	7	1.4	4.2
計	505	100.0	100.0

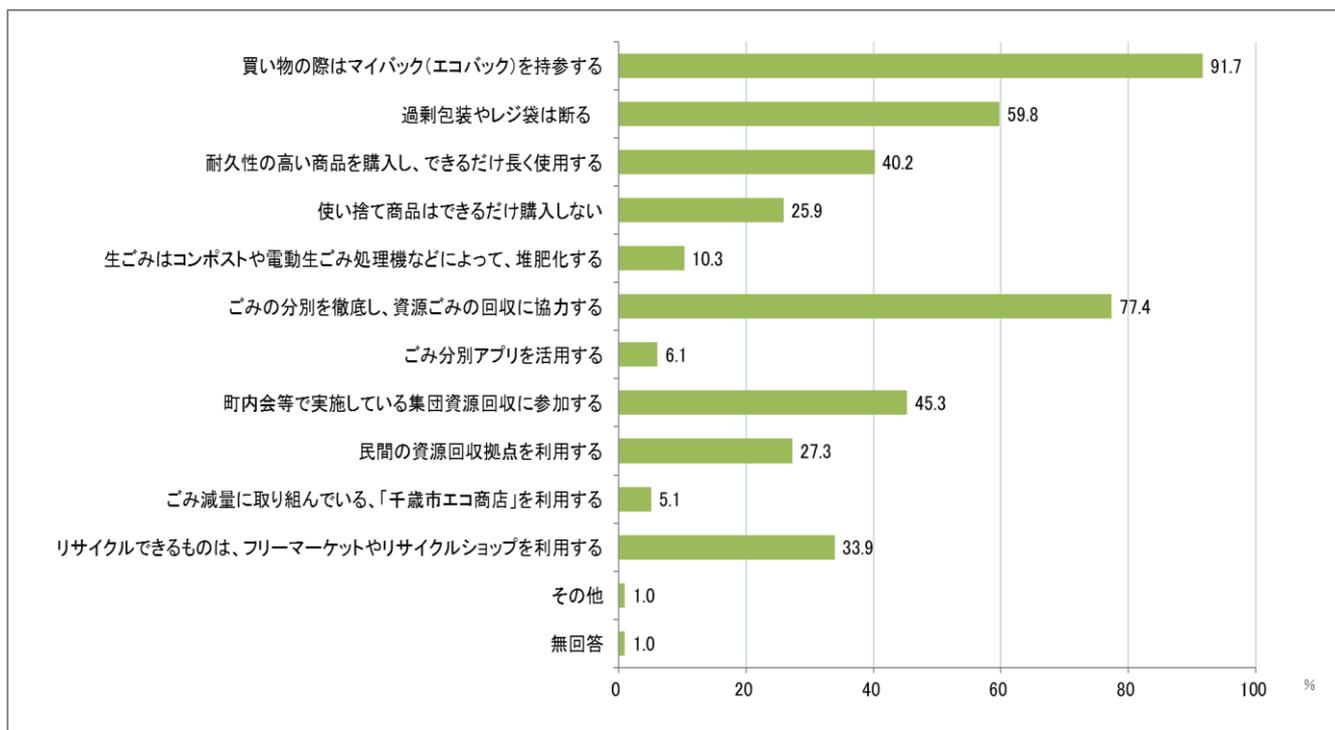
問 23 ごみの減量化のために、あなたが必要だと思うことで、ご家庭で実行していることをすべて選んでください。

廃棄物の削減等に関連している行動について、回答者やその家庭で実行しているものをすべて選択する設問です。

実行割合が高いものは、「買い物の際はマイバック（エコバック）を持参する」が 91.7%（89.1%）となっているほか、「ごみの分別を徹底し、資源ごみの回収に協力する」が 77.4%（84.1%）、「過剰包装やレジ袋は断る」が 59.8%（60.2）となっています。

区分	回答数	割合(%)	
		今回調査	前回調査
買い物の際はマイバック（エコバック）を持参する	463	91.7	89.1
過剰包装やレジ袋は断る	302	59.8	60.2
耐久性の高い商品を購入し、できるだけ長く使用する	203	40.2	40.8
使い捨て商品はできるだけ購入しない	131	25.9	27.6
生ごみはコンポストや電動生ごみ処理機などによって、堆肥化する	52	10.3	12.9
ごみの分別を徹底し、資源ごみの回収に協力する	391	77.4	84.1
ごみ分別アプリを活用する	31	6.1	4.4
町内会等で実施している集団資源回収に参加する	229	45.3	52.1
民間の資源回収拠点を利用する	138	27.3	27.8
ごみ減量に取り組んでいる、「千歳市エコ商店」を利用する	26	5.1	3.6
リサイクルできるものは、フリーマーケットやリサイクルショップを利用する	171	33.9	32.4
その他	5	1.0	0.6
無回答	5	1.0	3.0
計	2,147	425.0	438.6

※ 割合(%)は、有効回答数505件に対する割合である。

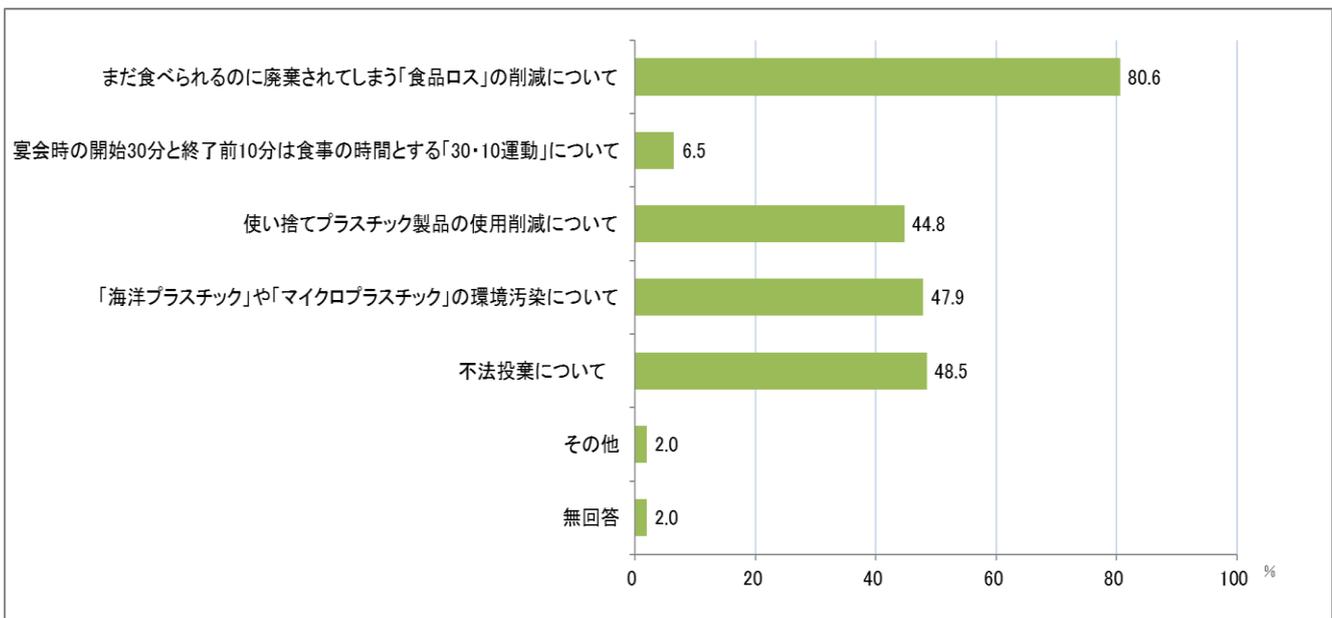


問 24 ごみ減量に関することで、最近関心のあることをすべて選んでください。

新たに調査する設問です。ごみの減量化に関することで最近関心のあることをすべて選択する設問です。関心が高いものは、「まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品ロスの削減について」が 80.6%、「不法投棄について」が 48.5%、「海洋プラスチックやマイクロプラスチックの環境汚染について」が 47.9%、「使い捨てプラスチック製品の使用削減について」が 44.8%となっています。また、「その他」の回答として、「過剰包装」や「ごみの分別」などがありました。

区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
まだ食べられるのに廃棄されてしまう「食品ロス」の削減について	407	80.6	73.2
宴会時の開始30分と終了前10分は食事の時間とする「30・10運動」について	33	6.5	9.9
使い捨てプラスチック製品の使用削減について	226	44.8	50.1
「海洋プラスチック」や「マイクロプラスチック」の環境汚染について	242	47.9	51.5
不法投棄について	245	48.5	46.3
その他	10	2.0	1.0
無回答	10	2.0	5.4
計	1,173	232.3	237.4

※ 割合 (%) は、有効回答数505件に対する割合である。

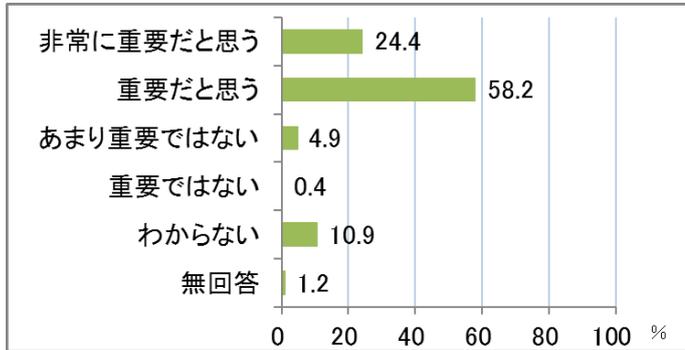


6 環境保全活動などの設問

問 25 学校教育以外の環境学習の機会について、どう思いますか。

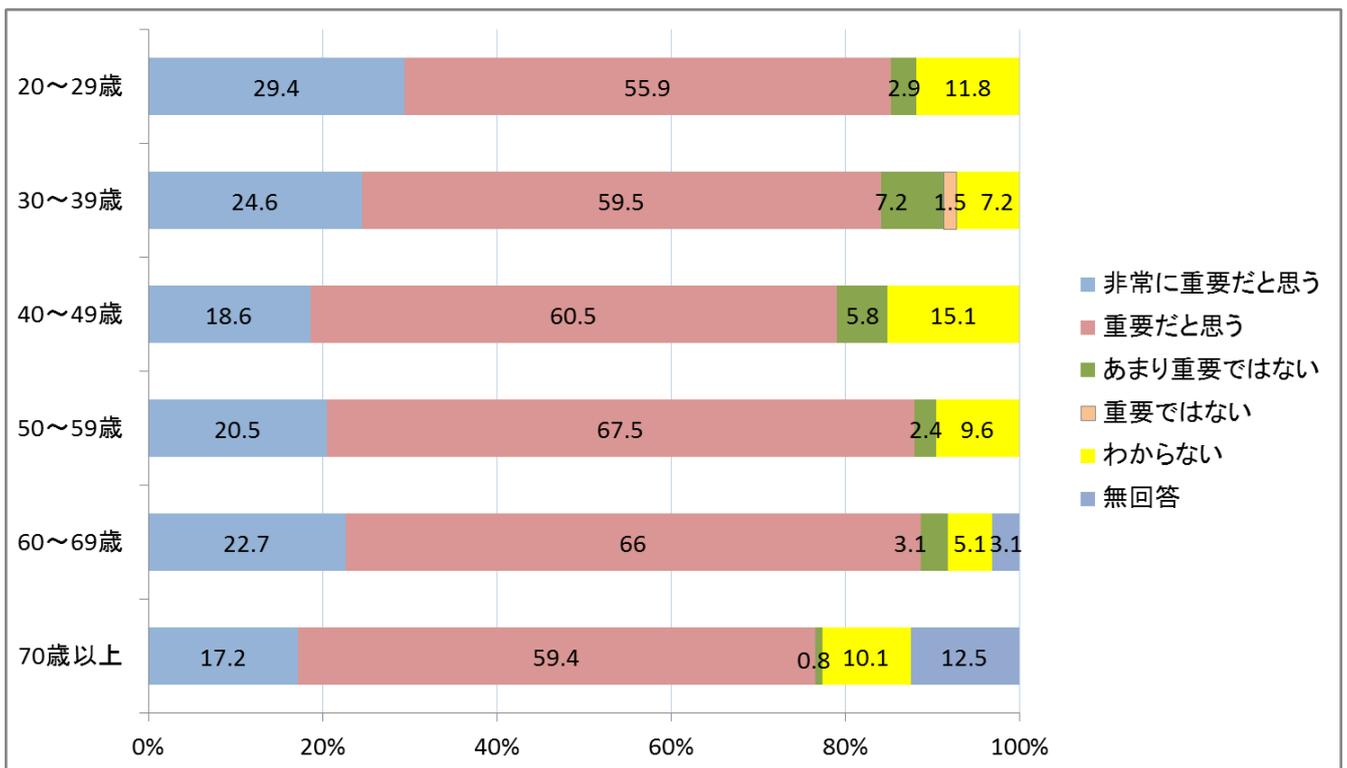
学校以外の環境学習の機会については、「非常に重要だと思う」が 24.4% (20.9%)、「重要だと思う」が 58.2% (62.0%) となっています。「非常に重要だと思う」、「重要だと思う」を合わせた回答が 82.6% (82.9%) となり、前回調査と同様に高い割合となっています。

また、「わからない」との回答が 10.9% (9.7%) ありました。



区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
非常に重要だと思う	123	24.4	20.9
重要だと思う	294	58.2	62.0
あまり重要ではない	25	4.9	3.4
重要ではない	2	0.4	0.2
わからない	55	10.9	9.7
無回答	6	1.2	3.8
計	505	100.0	100.0

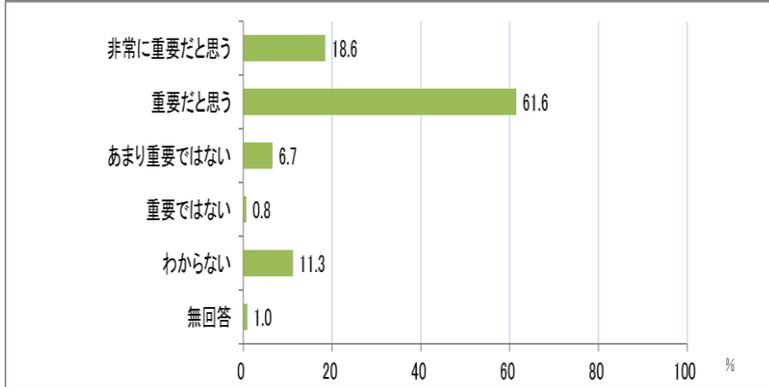
年齢構成別でも、「非常に重要だと思う」、「重要だと思う」を合わせた回答は 60～69 歳で 88.7% の最高から、70 歳以上の 76.6% の最低まで各年代で高い回答割合です。



問 26 環境保全のための地域間（北海道・近隣市町など）の情報交換ができる機会について、どう思いますか。

「非常に重要だと思う」18.6%（15.7%）、「重要だと思う」61.6%（63.2%）を合わせた回答が80.2%（78.9%）となり、前回調査と同様に高い割合となっています。

また、「あまり重要ではない」6.7%（3.8%）、「重要ではない」0.8%（0.8%）を合わせた回答は7.5%（4.6%）となります。なお、「わからない」との回答が11.3%（13.3%）ありました。

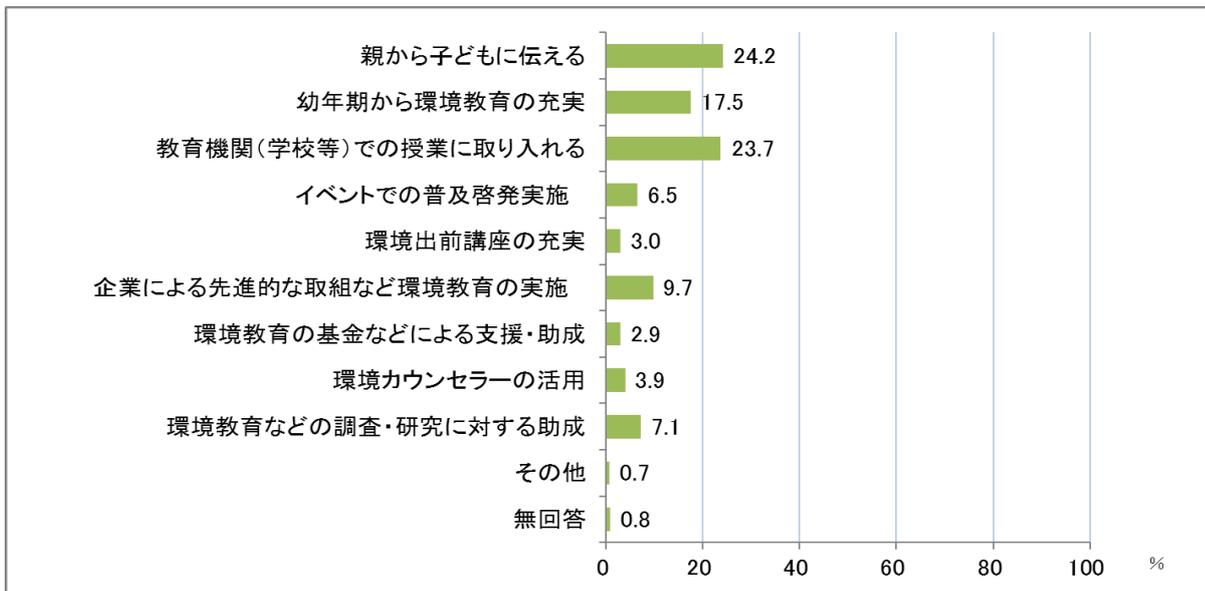


区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
非常に重要だと思う	94	18.6	15.7
重要だと思う	311	61.6	63.2
あまり重要ではない	34	6.7	3.8
重要ではない	4	0.8	0.8
わからない	57	11.3	13.3
無回答	5	1.0	3.2
計	505	100.0	100.0

問 27 環境教育や環境知識の習得に繋がることはなんですか。3つ以内で選んでください。

回答割合が高いものは、「親から子どもに伝える」24.2%（24.3%）、「教育機関（学校等）での授業に取り入れる」23.7%（24.8）、「幼年期から環境教育の充実」17.5%（19.1%）となっています。

区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
親から子どもに伝える	332	24.2	24.3
幼年期から環境教育の充実	240	17.5	19.1
教育機関（学校等）での授業に取り入れる	325	23.7	24.8
イベントでの普及啓発実施	90	6.5	6.2
環境出前講座の充実	41	3.0	1.4
企業による先進的な取組など環境教育の実施	133	9.7	11.2
環境教育の基金などによる支援・助成	40	2.9	3.4
環境カウンセラーの活用	54	3.9	3.2
環境教育などの調査・研究に対する助成	97	7.1	4.2
その他	9	0.7	0.3
無回答	11	0.8	1.9
計	1,372	100.0	100.0



問 28 環境教育に関連して、あなたやあなたのご家庭で実行しているものをすべて選んでください。

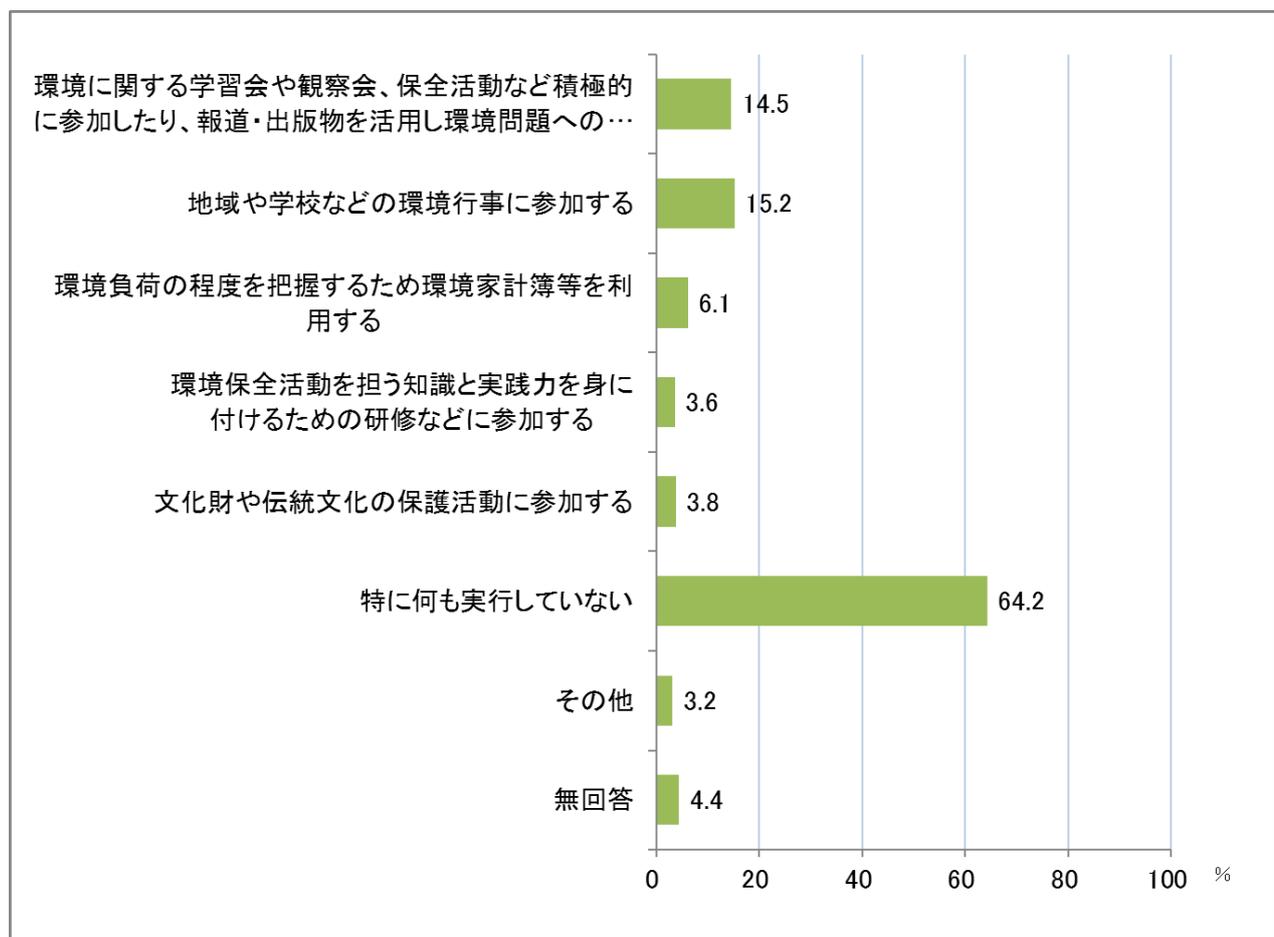
割合が最も高いものは、「特に何も実行していない」との回答が 64.2% (57.7) ですが、実行していると回答した中では、「環境に関する学習会や観察会、環境保全活動など積極的に参加したり、報道・出版物などを活用し環境問題への理解を深める」が 14.5% (18.9%) で、前回調査から 4.4 ポイント減少しています。次に、「地域や学校などの環境行事に参加する」が 15.2% (12.9%) で、前回調査から 2.3 ポイント増加しています。

また、「その他」の回答として、「社内で環境教育を実施している」、「家庭内で教育している」などがありました。

区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
環境に関する学習会や観察会、環境保全活動など積極的に参加したり、報道・出版物などを活用し環境問題への理解を深める	73	14.5	18.9
地域や学校などの環境行事に参加する	77	15.2	12.9
環境負荷の程度を把握するため環境家計簿等を利用する	31	6.1	5.2
環境保全活動を担う知識と実践力を身に付けるための研修などに参加する	18	3.6	2.2
文化財や伝統文化の保護活動に参加する	19	3.8	4.6
特に何も実行していない	324	64.2	57.7
その他	16	3.2	2.6
無回答	22	4.4	7.8
計	580	115.00	111.90

※1 割合(%)は、有効回答数505件に対する割合である。

※2 環境家計簿とは、電気・水道・ガソリンなどの使用量から二酸化炭素排出量を計算できるものである。



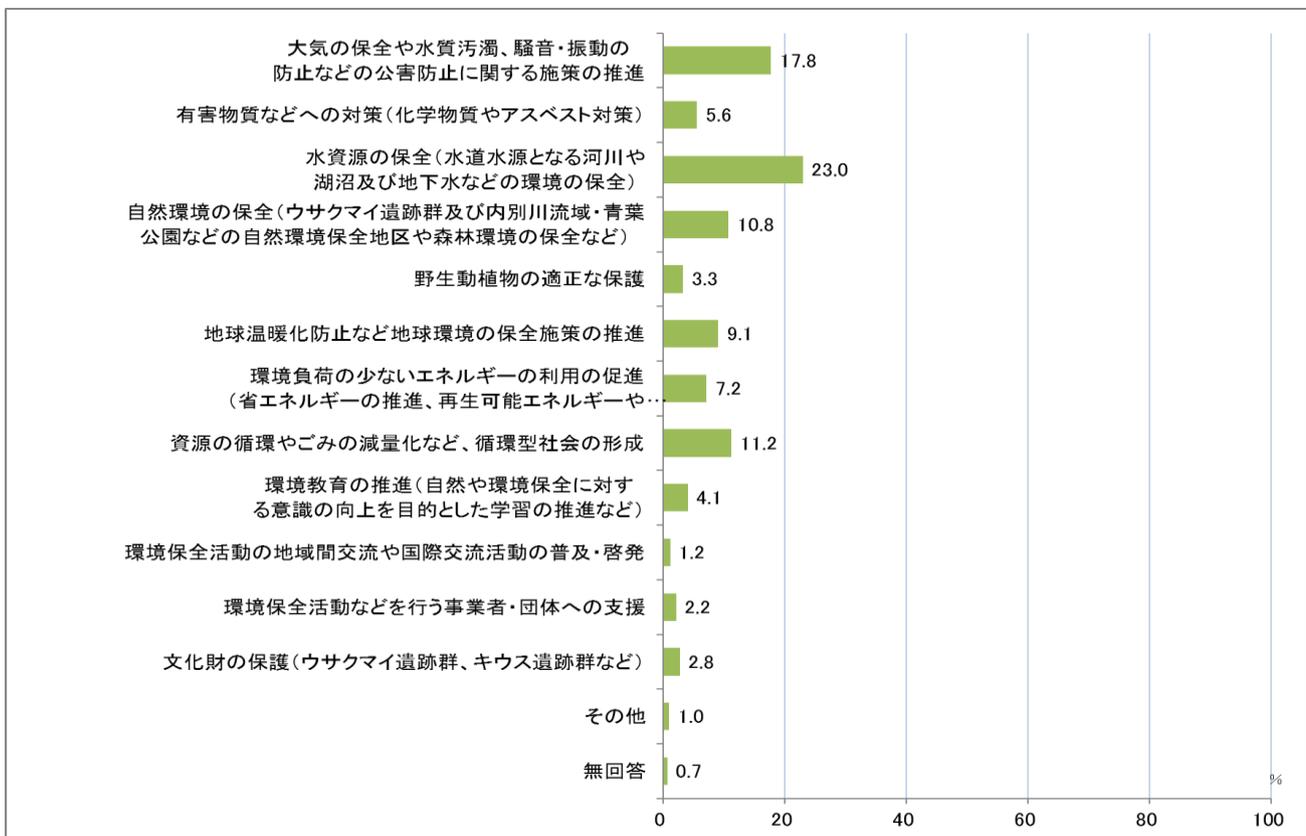
問 29 あなたが考える今後千歳市が重点的に取り組むべき環境保全施策はなんですか。次の中から3つ以内で選んでください。

千歳市が重点的に取り組むべき環境保全施策について、3つ以内で選択する設問です。

回答割合が高いものは、「水資源の保全（水道水源となる河川や湖沼および地下水などの環境の保全）」が23.0%（24.0%）、「大気の保全や水質汚濁、騒音・振動の防止などの公害防止に関する施策の推進」が17.8%（19.6%）となっています。

また、「その他」の回答として、「野生動物の適切な駆除・管理」、「ラピダス稼働後の定期的な水質検査（PFASなど）」、「外国人へ土地を売らない。太陽光パネルを安易に増やさない。」などがありました。

区分	回答数	割合 (%)	
		今回調査	前回調査
大気の保全や水質汚濁、騒音・振動の防止などの公害防止に関する施策の推進	245	17.8	19.6
有害物質などへの対策（化学物質やアスベスト対策）	77	5.6	5.3
水資源の保全（水道水源となる河川や湖沼及び地下水などの環境の保全）	318	23.0	24.0
自然環境の保全（ウサクマイ遺跡群及び内別川流域・青葉公園などの自然環境保全地区や森林環境の保全など）	149	10.8	10.8
野生動植物の適正な保護	46	3.3	4.6
地球温暖化防止など地球環境の保全施策の推進	126	9.1	7.3
環境負荷の少ないエネルギーの利用の促進（省エネルギーの推進や再生可能エネルギーや次世代エネルギーの活用）	99	7.2	5.8
資源の循環やごみの減量化など、循環型社会の形成	155	11.2	11.8
環境教育の推進（自然や環境保全に対する意識の向上を目的とした学習の推進など）	56	4.1	5.2
環境保全活動の地域間交流や国際交流活動の普及・啓発	16	1.2	0.5
環境保全活動などを行う事業者・団体への支援	31	2.2	2.2
文化財の保護（ウサクマイ遺跡群、キウス遺跡群など）	38	2.8	2.0
その他	14	1.0	0.6
無回答	10	0.7	0.3
計	1380	100.0	100.0



7 総評

各項目の傾向や前回調査からの変化を分析すると、公害関係項目について、公害を感じている方の割合で、大気汚染では「常にある」と「時々ある」の合計が前回の41.2%から33.3%に減少しています。水質汚染、騒音、振動、悪臭と各設問の回答については、概ね前回調査と同様であり、大きな増減はないと考えられます。

環境配慮行動では「ごみの分別を徹底し・リサイクルを心がけている」が最も多く、次に「不要な電灯を消灯するなど省エネに心がける」が選ばれています。この2つの行動は、8割以上の方が取組をしており、環境配慮行動について市民の意識が高いことがわかります。

自然環境項目について、千歳川や支笏湖の環境は良好な状態が保たれていると考えられていますが、設問15の「千歳の自然を守るにはどうしたらよいと思いますか」との問いには、「森林の伐採を抑制する」が前回の30.0%から42.8%に増加しています。これは、近年、森林（郊外など）を伐採し、太陽光発電設備の設置をよく見かけるようになったことも要因と考えられます。

地球環境保全項目について、関心が「ある」と回答した人の割合は前回調査と同様に高い割合となっており、特に「地球温暖化」、「異常気象」に高い関心がもたれ、温暖化は進行していると感じている方が増えていると考えられます。

そのほかの項目では、「家庭における温室効果ガス排出削減のため、普及が重要と考える機器はありますか。」の質問において、「太陽光発電システム」と考える方が27.7%、次いで「電気自動車」が11.3%に増加しました。これは近年の電気自動車の普及啓発によるものが要因と考えられます。

廃棄物対策項目では3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に関心を示すとともに多くの市民が実践していることがわかります。

環境保全活動などの項目では環境学習の機会、情報交換や学校での教育が重要と考えている方が多い結果となっています。

また、本市が重点的に取り組むべき環境保全施策については、「水資源の保全」と「大気の保全や水質汚濁、騒音、振動の防止などの公害防止に関する施策の推進」が期待されています。

千歳市の環境に関するアンケート調査

【ご協力をお願い】

日ごろより市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このアンケート調査は、今後の環境行政の基本的な指針となる、第3次千歳市環境基本計画（令和3年度～令和12年度）について、「脱炭素社会の構築」などの取組内容の見直しに当たり、市民の皆さまから当市の環境行政に対するご意見をいただき、取組のより一層の推進に活用させていただくために実施するものです。

回答は無記名方式で行い、内容はすべて統計的に処理をするため、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることはありません。

大変お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、アンケートの主旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和6年6月

千歳市長 横田 隆一

● アンケートの対象者

- 千歳市に居住する20歳以上の市民1,200名を無作為に選ばせていただきました。
- 封筒の宛名の方が対象者ですが、その方が回答できない場合は、ご家族の方などが対象者となりご回答ください。

● 回答方法および返送方法 ※詳細につきましては、裏面をご覧ください。

- ①調査票（本書）に直接ご記入いただき返送いただくか、②WEBアンケートにより、ご回答ください。

● 締め切り（調査票、WEBアンケート共通）

7月19日(金)（調査票にご記入いただく場合、この日までに投函してください）

● アンケート結果の公表

- 本アンケートの結果は、集計がまとまり次第、市のホームページに掲載する予定です。

< お問い合わせ先 >

千歳市役所 市民環境部 環境課 環境計画係
電話 (0123) 24-0590 (直通)
F A X (0123) 22-8851

【回答方法および返送方法】

- ①調査票（本書）、または②WEB アンケートのいずれかの方法で、お一人様1回のみ
ご回答ください。

<①調査票（本書）でご回答いただく場合>

- ◇選択式の設問は、該当する番号や選択肢に指定の数の○印で囲んでください。ただし、複数の回答をお願いしている設問もありますのでご注意ください。
- ◇記述式の設問は、お考えを簡単にまとめ、回答欄に記入してください。
- ◇調査票に回答をご記入後、調査票を三つ折りにしていただき、同封の「返信用封筒」に入れてご返送ください（切手は不要です）。

<②WEB アンケートでご回答いただく場合>

- ◇お持ちのパソコンまたはスマートフォンをお使いいただき、ご回答ください。

- ◇アンケート画面を開くには、右の2次元コードを読み取るか、

URL (<https://www.harp.lg.jp/cZYUukRt>) を入力してください。



- ◇選択式の設問は、該当する番号や選択肢に指定の数のチェックをつけてください。

- ◇記述式の設問は、お考えを簡単にまとめ、回答欄に入力してください。

- ◇最後の設問を回答されましたら、確認ボタンを押し、次の画面で送信ボタンを押して終了です。

（ご回答にあたって）

- ◇スマートフォン以外の携帯電話では回答できません。また、パソコンやスマートフォンの場合でも、お使いのソフトのバージョン等によっては、ご回答いただけない場合があります。

その場合は、大変お手数ですが調査票でご回答ください。

- ◇ご回答いただいている途中でインターネット接続が切断された場合などは、お手数ですが初めからやり直してください。

締め切り（調査票、WEB アンケート共通）

7月19日(金)（調査票にご記入いただく場合、この日までに投函してください）

千歳市の環境に関するアンケート調査票

【基本項目】

* 該当する項目の数字に○印をご記入ください。

1 性別

1. 男	2. 女
------	------

2 年齢

1. 20～29歳	2. 30～39歳	3. 40～49歳	4. 50～59歳
5. 60～69歳	6. 70歳以上		

3 お住まいの地域

1. 本町、東雲町、朝日町、真々地、平和
2. 清水町、幸町、千代田町、栄町、錦町
3. 春日町、緑町、大和、桂木、新星、蘭越
4. 北栄、新富
5. 北斗、自由ヶ丘、桜木
6. 信濃、富士
7. 富丘、北光、北陽、長都駅前、勇舞、あずさ
8. 末広、花園、稲穂、高台、清流、幸福
9. 青葉、豊里、住吉、東郊、青葉丘
10. 日の出、梅ヶ丘、弥生、寿、旭ヶ丘、日の出丘、流通
11. 若草、白樺、里美、柏陽、福住、文京、泉沢、真町
12. 北信濃、上長都、みどり台北、みどり台南
13. 都、長都、釜加、根志越、祝梅、中央、駒里、泉郷、美々
14. 幌加、協和、新川、東丘
15. 支笏湖温泉、幌美内、モラップ

4 職業

1. 自営業	2. 会社員	3. 国家公務員	4. 地方公務員	5. 主婦
6. 学生	7. 無職	8. その他 (.....)		

5 現在の住居の居住年数

1. 5年未満	2. 5～10年未満	3. 10～15年未満		
4. 15～20年未満	5. 20～25年未満	6. 25年以上	7. 不明	

【公害関係の設問】

問1 あなたのまわりで大気汚染（空気の汚れ）がありますか。

1. 常にある 2. 時々ある 3. ない

問1-1 前の設問で『1. 常にある』、『2. 時々ある』とお答えの方にお尋ねします。
その原因となる主なものはなんですか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 工場または事業場のばい煙 2. 工場または事業場の粉じん 3. PM2.5※
4. 自動車の排気ガス 5. 近隣でのごみ焼却の煙 6. 近隣住宅の暖房の排気
7. その他（.....）

※大気中に浮遊する、呼吸器や循環器への影響が懸念される微粒子

問2 あなたのまわりで水質汚濁（河川などの汚れ）がありますか。

1. 常にある 2. 時々ある 3. ない

問2-1 前の設問で『1. 常にある』、『2. 時々ある』とお答えの方にお尋ねします。
その原因となる主なものはなんですか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 工場または事業場の排水 2. 家庭排水 3. 雨水 4. 排雪水
5. ごみの投棄 6. その他（.....）

問3 あなたのまわりで騒音（うるさい音）がありますか。

1. 常にある 2. 時々ある 3. ない

問3-1 前の設問で『1. 常にある』、『2. 時々ある』とお答えの方にお尋ねします。
その原因となる主なものはなんですか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 工場等の機械による音 2. 自動車の音 3. 航空機の音
4. 拡声放送の音などの営業音 5. 近隣騒音（大きい音、ペットの鳴き声など）
6. 鉄道の音 7. オートバイなどの深夜騒音 8. 建設工事の音
9. その他（.....）

問4 あなたは航空機騒音対策をどのようにしたら良いと思いますか。

次の中から2つ以内で選んでください。

1. 住宅防音工事の対象区域の拡大や制度の充実を図る 2. 緩衝緑地等を整備拡大する
3. 夜間・早朝の飛行を制限する 4. エンジンなどの改良により低騒音化を図る
5. 自衛隊機の飛行を制限する 6. 住居を航空機騒音の少ない地域へ移転する
7. その他（.....）

問5 あなたのまわりで振動（建物、地面の揺れ）がありますか。

1. 常にある 2. 時々ある 3. ない

問5-1 前の設問で『1. 常にある』、『2. 時々ある』とお答えの方にお尋ねします。
その原因となる主なものはなんですか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 工場等の機械による振動 2. 自動車の振動 3. 建設工事の振動
4. 鉄道の振動 5. その他（.....）

問6 あなたのまわりで悪臭（嫌な臭い）がありますか。

1. 常にある 2. 時々ある 3. ない

問6-1 前の設問で『1. 常にある』、『2. 時々ある』とお答えの方にお尋ねします。
その原因となる主なものはなんですか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 工場等から出る臭い 2. 肥料や家畜の臭い 3. 下水排水の臭い
4. ごみの臭い 5. し尿の臭い 6. 廃棄物処理施設から出る臭い
7. 生ごみ堆肥化（コンポスト）から出る臭い
8. その他（.....）

問7 あなたのまわりで土壌汚染や地盤沈下の状況を聞いたことがありますか。

1. 常にある 2. 時々ある 3. ない

問8 有害物質として、あなたが懸念するものはなんですか。
次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 工場・事業所からの排出物
2. 食品や加工品などに含まれる化学物質（添加物など）
3. 農地やレジャー施設で使用される農薬 4. 焼却に伴うダイオキシン
5. シックハウスなどを引きおこす薬品または化学物質 6. 車両からの排気ガス
7. セシウムなどの放射性物質 8. 微小粒子物質「PM2.5」
9. 大陸からの黄砂 10. 建設物の解体に伴うアスベスト（石綿）
11. その他（.....）

問9 環境に配慮する行動について、あなたやあなたのご家庭で実行していることをすべて選んでください。

1. 洗剤は環境への負荷が少ないものを選び、使いすぎないようにする
2. 使用済み油は適切に処理し、下水道等に流さない
3. 使用済みエンジンオイルは適切に処理し、雨水桝等に流さない
4. ごみの分別を徹底し、リサイクルを心がけている
5. 登山やキャンプなどのごみは必ず持ち帰る
6. ごみやタバコのポイ捨てはしない
7. 楽器やオーディオ機器などは、時間や場所などを考え、迷惑のかからない使い方をする
8. 車を運転する際は、カーステレオの音、夜間のエンジン音などに配慮し、迷惑とならないように気をつけたり、不要なアイドリングは行わない
9. 不要な電灯を消灯するなど省エネに心がけている
10. 大気・土壌・地下水汚染・地盤沈下の知識を深める
11. 河川清掃やごみ拾いなどの活動に参加する
12. 生ごみ等の処理に配慮し、悪臭の発生を防ぐ
13. 低農薬や無農薬の食材の選択に心がける
14. ペットのふんを適正に処理することに努める
15. その他 (.....)

【自然環境の設問】

問10 千歳川の環境について、あなたはどのように感じていますか。

1. 以前より悪化している
2. 良好に保たれている
3. わからない

問10-1 前の設問で『1. 以前より悪化している』とお答えの方にお尋ねします。
その主な原因はなんですか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 水質が悪くなった
2. 川のごみが多くなった
3. 護岸や柵などのため、川岸に行けなくなった
4. 川岸の木や草が少なくなった
5. 川と生活の関わりが薄らいだ
6. 魚などの生物が少なくなった
7. その他 (.....)

問11 支笏湖の環境について、あなたはどのように感じていますか。

1. 以前より悪化している
2. 良好に保たれている
3. わからない

問11-1 前の設問で『1. 以前より悪化している』とお答えの方にお尋ねします。
その主な原因はなんですか。次の中から1つだけ選んでください。

1. 透明度が悪くなった
2. 周辺のみどり（樹木）が少なくなった
3. 湖の周辺のごみが多くなった
4. 釣りやマリンスポーツなどのボートが増えた
5. 広告塔や看板が増えた
6. その他 (.....)

問 12 あなたが自然環境を特に守っていききたいと思う地域は次のどれですか。

あてはまるものをすべて選んでください。

- | | | | |
|-----------------|--------------------|-----------|---------------|
| 1. 国立公園支笏湖の周辺地域 | 2. ウサクマイ遺跡群及び内別川流域 | | |
| 3. キウス遺跡周辺 | 4. 千歳川周辺の水辺 | 5. 青葉公園周辺 | 6. 泉沢向陽台の周辺地域 |
| 7. 美々川及び千歳湖周辺 | 8. 千歳市東部地域などの農地 | 9. 市街地中心部 | |
| 10. サーモンパーク周辺 | 11. その他 (.....) | | |

問 13 千歳の市街地は、みどり（樹木）が多いと思いますか。

- | | | | |
|----------|-----------|--------------|----------|
| 1. 多いほうだ | 2. 少ないほうだ | 3. どちらともいえない | 4. わからない |
|----------|-----------|--------------|----------|

問 14 千歳市では、ウサクマイ遺跡群及び内別川流域、千歳川（王子製紙(株)千歳第四発電所の下流 400mから内別川合流地点ほか）及び青葉公園全域を市が独自の自然環境保全地区に指定していますが、ご存じですか。
※自然環境保全地区とは、貴重な生態系を維持するため、重要な役割を果たす自然地域や生物多様性に富んでいる地域を保全するため指定した区域のことです。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 15 千歳の自然を守るにはどうしたら良いと思いますか。次の中から 1つだけ選んでください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 森林伐採などの自然破壊を抑制する | 2. 行事の開催等による普及啓発を行う |
| 3. 家庭や学校での環境教育を推進する | 4. 環境監視体制を強化する |
| 5. 行政による規制や指導を強化する | |
| 6. その他 (.....) | |

問 16 自然環境に配慮する行動について、あなたやあなたのご家庭で実行しているものをすべて選んでください。

- | |
|----------------------------------|
| 1. 公園などの身近な草木を大切にする |
| 2. 緑化（植樹）活動などの環境保護活動に積極的に参加・協力する |
| 3. まちの美化活動（ごみ拾い等）に積極的に参加・協力する |
| 4. 林や河川等の動植物の生育場所を大切にする |
| 5. 農地や空き地、山林などに不法投棄をしない |
| 6. 外来生物は「入れない、捨てない、拡げない」を守る |
| 7. ペットは責任を持って飼い、最後まで捨てない |
| 8. その他 (.....) |

【地球環境の設問】

問 17 あなたは、地球規模の環境問題に関心がありますか。

1. ある 2. ない 3. わからない

問 17-1 前の設問で『1. ある』とお答えの方にお尋ねします。関心のあるものはなんですか。特に思うものを次の中から1つだけ選んでください。

1. 地球温暖化 2. オゾン層の破壊 3. 熱帯雨林の減少 4. 酸性雨 5. 砂漠化 6. 海洋汚染やマイクロプラスチック 7. 異常気象 8. 集中豪雨 9. 海面上昇
9. その他 (.....)

問 18 現在、地球温暖化が進行していると思いますか。

1. 思う 2. 思わない 3. わからない

問 18-1 前の設問で『1. 思う』とお答えの方にお尋ねします。その理由はなんですか。特に思うものを次の中から1つだけ選んでください。

1. 昔と比べて、暖かいと感じる 2. 昔と比べて、豪雨などの異常気象が多くなった
3. 昔と比べて、雪が積もらなくなった 4. 今まで見なかった動植物が現れた
5. 昔見ることができた動植物がいなくなった
6. マスコミなどがそのように伝えている
7. その他 (.....)

問 19 あなたは、地球温暖化対策として必要なことは、どのような取組だと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。

1. 一人ひとりの心がけにより省エネルギーや省資源に取り組む
2. 電気製品などの省エネルギー技術の開発、製品化を進める
3. 太陽光発電などの再生可能エネルギーや次世代エネルギー技術の開発、活用を進める
4. 事業所などが自主的に省エネルギーや省資源に取り組む
5. 家庭や学校での環境教育を推進する
6. 環境配慮行動の普及啓発を行う
7. 行政自らが自主的に省エネルギーや省資源を推進する
8. 事業所などに対する行政の規制や指導を徹底する
9. 省エネルギー・再生可能エネルギー機器の低価格化
10. 省エネルギー・再生可能エネルギー機器を導入する企業や家庭に対して融資や助成を行う
11. 二酸化炭素吸収のため吸収源の確保と循環型社会の形成
12. 化石燃料からクリーンエネルギーへの転換
13. 行動変容の推進（外的な環境の変化に応じて人の行動が変化すること）
14. その他 (.....)

問 20 地球温暖化対策の行動について、あなたやあなたのご家庭で実行しているものをすべて選んでください。

1. 電気製品を購入するときは、省エネルギー型のもを選ぶ
2. 電灯をこまめに消す・電気製品を使わないときには主電源を切るなど、節電を心がける
3. コンロの炎の大きさが鍋の底からはみ出さないようにするなど、ガスを無駄に使用しないように心がける
4. 冷暖房機は適温で使用する
5. エコマーク商品やグリーンマーク商品（古紙再生品）など、環境に配慮した商品を購入する
6. 食器洗い、洗顔、歯磨き、シャワーを浴びる時などはこまめに水を止め、節水に努める
7. お風呂の残り湯は、洗濯などに再利用する
8. 車を購入するときは、電気自動車や燃料電池車などの次世代自動車を選ぶ
9. マイカーの使用を控え、バスなどの公共交通機関や自転車を利用する
10. 不要なアイドリングの停止やふんわりアクセルなど、環境への負荷が少ない運転を行う
11. 地球温暖化対策に関する環境イベント、講習会等に参加し知識向上に努める
12. 地産地消の商品を選択する
13. 住宅の新築やリフォーム時には、太陽光発電設備や蓄電池などの設置やエネルギー効率の高い高气密、高断熱なものを選択する
14. その他（.....）

問 21 家庭における温室効果ガス排出削減のため、普及が重要と考える機器はありますか。
次の中から1つだけ選んでください。

1. 太陽光発電システム
2. 太陽熱利用システム（太陽熱温水器）
3. ペレットストーブ
4. ガスエンジンコージェネレーションシステム（コレモ）※₁
5. 家庭用燃料電池（エネファーム）※₂
6. エコジョーズ（ガス高効率給湯器）
7. エコフィール（石油高効率給湯器）
8. エコキュート（電気高効率給湯器）
9. ヒートポンプ温水暖房システム※₃
10. 電気自動車
11. 燃料電池（水素）自動車
12. 蓄電池
13. その他（.....）

※₁ ガスを利用し発電する際に、排熱を給湯などに有効活用するシステム

※₂ 水素と酸素を利用し発電する際に、排熱を給湯などに有効活用するシステム

※₃ 外気の熱を建物内に取り込み温水をつくり、暖房に活用するシステム

【廃棄物対策の設問】

問 22 廃棄物対策について、あなたは、ごみ発生の抑制や物品の再使用・再資源化に努めていますか（3Rの推進）。

※3Rとは、ごみを出さない（Reduce リデュース）、くり返して使う（Reuse リユース）、再資源化（Recycle リサイクル）の取り組みです。

1. はい
2. いいえ
3. わからない

問 23 ごみの減量化のために、あなたが必要だと思うことで、ご家庭で実行していることをすべて選んでください。

1. 買い物の際はマイバック（エコバック）を持参する
2. 過剰包装やレジ袋は断る
3. 耐久性の高い商品を購入し、できるだけ長く使用する
4. 使い捨て商品はできるだけ購入しない
5. 生ごみはコンポストや電動生ごみ処理機などによって、堆肥化する
6. ごみの分別を徹底し、資源ごみの回収に協力する
7. ごみ分別アプリを活用する
8. 町内会等で実施している集団資源回収に参加する
9. 民間の資源回収拠点を利用する
10. ごみ減量に取り組んでいる、「千歳市エコ商店」を利用する
11. リサイクルできるものは、フリーマーケットやリサイクルショップを利用する
12. その他（.....）

問 24 ごみ減量に関することで、最近関心のあることをすべて選んでください。

1. まだ食べられるのに廃棄されてしまう「食品ロス」の削減について
2. 宴会時の開始30分と終了前10分は食事の時間とする「30・10運動」について
3. 使い捨てプラスチック製品の使用削減について
4. 「海洋プラスチック」や「マイクロプラスチック」の環境汚染について
5. 不法投棄について
6. その他（.....）

【環境保全活動などの設問】

問 25 学校教育以外の環境学習の機会について、どう思いますか。

1. 非常に重要だと思う
2. 重要だと思う
3. あまり重要ではない
4. 重要ではない
5. わからない

問 26 環境保全のための地域間（北海道・近隣市町など）の情報交換等ができる機会について、どう思いますか。

1. 非常に重要だと思う
2. 重要だと思う
3. あまり重要ではない
4. 重要ではない
5. わからない

問 27 環境教育や環境知識の習得に繋がることはなんですか。3つ以内で選んでください。

1. 親から子どもに伝える
2. 幼年期から環境教育の充実
3. 教育機関（学校等）での授業に取り入れる
4. イベント等での普及啓発実施
5. 環境出前講座の充実
6. 企業による先進的な取組など環境教育の実施
7. 環境教育の基金などによる支援・助成
8. 環境カウンセラー（環境保全に関する豊富な経験や専門的知識を有する人）の活用
9. 環境教育などの調査・研究に対する助成
10. その他（.....）

問 28 環境教育に関連して、あなたやあなたのご家庭で**実行しているものをすべて**選んでください。

1. 環境に関する学習会や観察会、環境保全活動など積極的に参加したり、報道・出版物などを活用し環境問題への理解を深める
2. 地域や学校などの環境行事に参加する
3. 環境負荷の程度を把握するため環境家計簿等を活用する（環境家計簿とは、電気、水道、ガソリンなどの使用量から二酸化炭素排出量を計算するもの）
4. 環境保全活動を担う知識と実践力を身に付けるための研修などに参加する
5. 文化財や伝統文化の保護活動に参加する
6. 特に何も実行していない
7. その他（.....）

問 29 あなたが考える今後千歳市が重点的に取り組むべき環境保全施策はなんですか。次の中から**3つ以内**で選んでください。

1. 大気の保全や水質汚濁、騒音・振動の防止などの公害防止に関する施策の推進
2. 有害物質などへの対策（化学物質やアスベスト対策）
3. 水資源の保全（水道水源となる河川や湖沼及び地下水などの環境保全）
4. 自然環境の保全（ウサクマイ遺跡群及び内別川流域、青葉公園などの自然環境保全地区や森林環境の保全など）
5. 野生動植物の適正な保護
6. 地球温暖化防止など地球環境の保全施策の推進
7. 環境負荷の少ないエネルギーの利用促進（省エネルギーの推進、再生可能エネルギーや次世代エネルギーの活用）
8. 資源の循環やごみの減量化など、循環型社会の形成
9. 環境教育の推進（自然や環境保全に対する意識の向上を目的とした学習の推進など）
10. 環境保全活動の地域間交流や国際交流活動の普及啓発
11. 環境保全活動などを行う事業者・団体への支援
12. 文化財の保護（ウサクマイ遺跡群、キウス遺跡群など）
13. その他（.....）

ご協力ありがとうございました。

千歳市の環境に関するアンケート調査結果報告書

令和6年9月

発行 千歳市

集計・編集：千歳市市民環境部環境課
〒066-8686 千歳市東雲町2丁目34番地
電話：0123-24-0590
Eメール：kankyo@city.chitose.lg.jp
ホームページ：<http://www.city.chitose.lg.jp/>